SHIN SHIN FUJIN

The First Magazine of Woman's Movement in Japan.

新眞婦人

五 月 號

第 十 三 號

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

看護婦見習生募集

年齢十八歳以上
學力尋常小學卒業以上
品行方正ニシテ傳染病ヲ有セザル女子ニ限ル

院長診察　月、水、木、金、午前
入院診後應需
林、峰間、兩副長ハ目下當院ニ在勤

電（本）八八八八（病院用）
八九八八（自宅用）

東洋内科醫院

東京神田駿河臺鈴木町二御茶水橋南

院長　醫學士高田畊安

相州高座郡茅ケ崎町海濱從停車場半里

電話ちがさき二番

南湖院

河野、高橋、兩副長ハ目下當院ニ在勤
院長診察土曜日午後。入院、診後應需

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新家庭になくてはならぬ實用第一の書

醫學士 高橋毅先生
哺育會長 伊藤常子先生 共著

最新刊

如何にして健全に子供を育て得べきかは

育兒三年 一名 小供を健全に育つる法

親として第一に心配する處でありますが、實際生れて四五歳迄はかよわく誠に取扱にくい而かも此間が育兒に付て大切なる時であります。本書は最も健全に子供を育て得べき方法を述べたもので、從來澤山にある育兒書の如く切れ〳〵の說明ではありません、總べて發育年月の順序に從ひ舊習慣の善惡なも研究し些細の事に至る迄注意してあります。特に說明平易御婦人方が讀んでも分り易く直に應用し得らるゝ點が本書の特色であります。附錄には病氣に罹りし時の應急手當も添へてありますから小供のある家庭には重寶無類の書です。

和本綴極美 全一册
正價金六十五錢
送料金八錢

新家庭贈答用。御嫁入道具として此上なき重寶書。目下妊娠中又は御子供ある奥樣方は精讀あれ

好評三版出來

妊娠十ケ月

大友醫學士
産婆 指田たね子編

妊婦解剖模型挿入

和綴極美 送料八錢
正價 金六十五錢

如何にして子供は擧げ得べきや。一ヶ月より十ヶ月迄の胎兒發育の狀態良人の守るべき事項。母の攝生法。妊婦中の養生法等本書で詳く說明してありすから秘密に心配などせず自身の御腹と引合せ産婆代りの本書を相談相手とせられよ。

宮中御歌所主事坂正臣先生編並書

○かか帖 全二冊金五十錢 送料四錢

○かなぶり 全二冊金七十錢 送料四錢

與謝野晶子著 ○女子のふみ 金四十五錢 送料八錢

石井松正共著 ○禮式作法 金六十五錢 送料八錢

發兌 東京市日本橋檜物町 振替口座東京二二三〇 弘學館

大阪備後町四丁目 振替大阪九九〇八 金正堂

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

五月號目次

口繪　マリイ・バシカアトセフの肖像

男は女の光、女は男の光　西川文子

香について　日向きむ

小話集　記者

衣食住に就て　佐治實然

春の歌　座古愛子

家庭の趣味　マンスター・チナ・アーツ　中村嘉壽

天才の女（二）　高安月郊

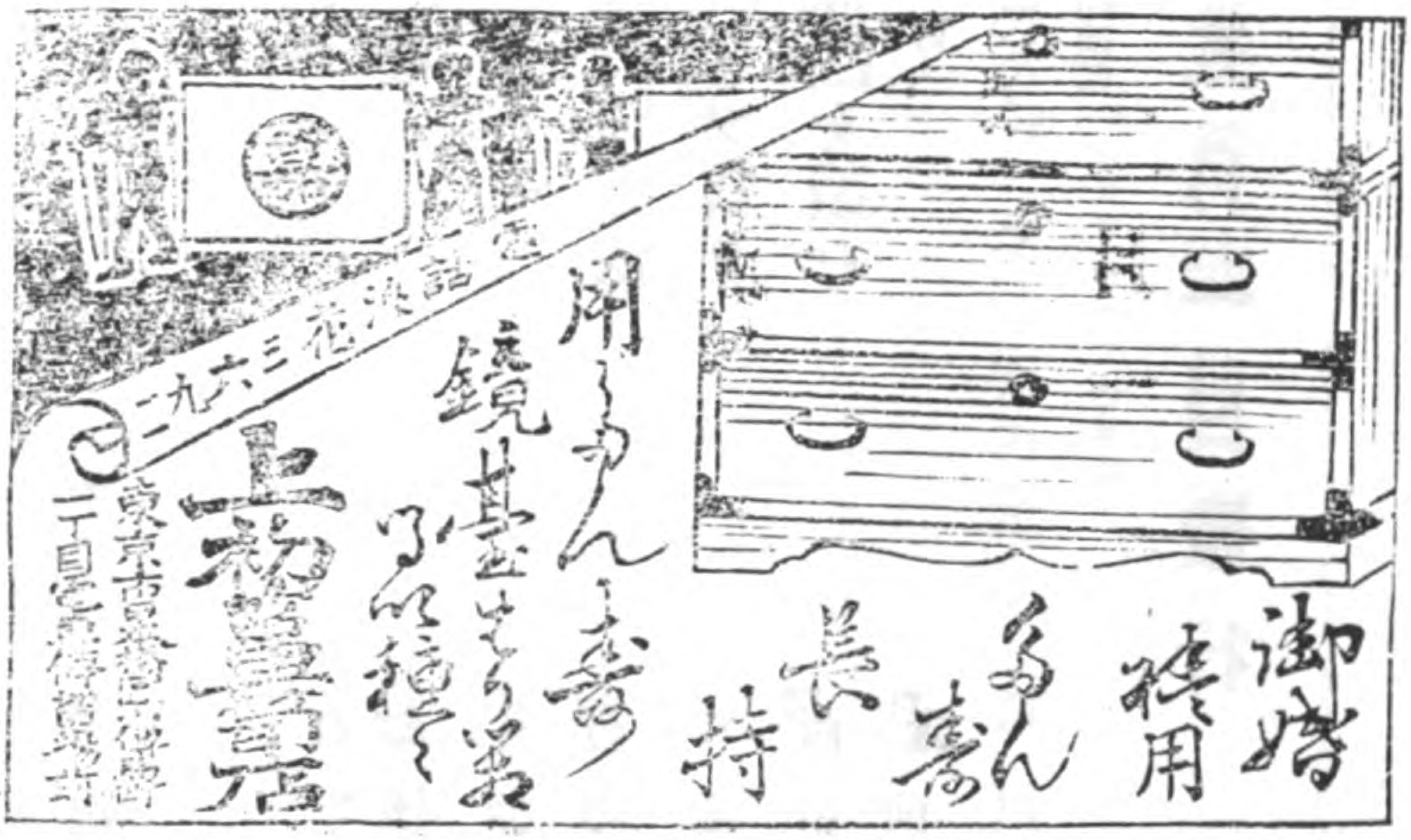
海外婦人の消息　中尾濟太郎

短歌　諸女史

遺傳に注意せよ　醫學博士　石川省吾

カシタンカ（八）　瀬沼夏葉
家探しの記　野の花
兩性間の調和　オリブ・シュライネル　高野重三譯
火神の死　島林あぐり
告白一片　有田しづ
人種改善の方法　西川光次郎
婦人論八ツ當り　八方醜婦
『魔の曲』を讀む　西川文子
俳句　諸女史
新刊紹介
本社の相談部

五月一日發行


御婚禮用
たんす
長持
鏡臺
電話浅草三六九二

應招案內

御家庭に於ける御一族の御集會、御宴席の餘興、工場慰安會其他各種講演會等に利用せらるゝ娛樂機關は其の趣味と實益とを兼備し且通俗敎育普及上簡易にして適切なるの點に於て活動寫眞の右に出づるもの無之と奉存候弊社は今般業務刷新の一端として左の如き便法の下に最も淸新優良なる內外の寫眞を撰拔して大方の御招聘に應じ可申候間何卒續々御用命あらんことを希上候

特種	壹夜映寫料	金貳拾五圓以上
甲種	同	金貳拾圓
乙種	同	金拾五圓

但三日間以上連續御招聘の場合は特に割引の御相談可申上候

注意

一、寫眞數　喜劇、悲劇、風俗、滑稽、奇術、歷史、地理、軍事、衛生、宗敎等拾二種　（全長八千呎內外、一夜三時間映寫し得）
　　但し御開會の二三日前寫眞目錄に簡單なる筋書を添へ御送り可申上候

二、出張員　辯士壹名、技師壹名（若くば貳名）荷物運搬夫壹名

三、藥　品　電氣の御設備なき場所は弊社より酸素瓦斯發生器壹式携帶可仕之れに要する各種藥品は弊社にて負擔可仕候又電氣は百ボールド
　　三十アンペア（直流、交流何れにても宜敷候）を要し申候此の場合はカーボンを弊社より携帶仕候

四、運搬費　器械其他附屬品の運搬費は市內は全部弊社にて負擔仕候得共市外は實費を申受候

東京市日本橋區檜物町廿六番地

日本活動寫眞株式會社營業部

電話本局　特長　三四九二、四六五一　四六五〇、三五四四　二八七九、五二一四　五二一五、

販賣貸附係專用

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正之日本

□毎月一回●一部十二錢□
□一日發行●郵稅一錢□

五月號

□一ヶ年分□一圓二十錢□
□半ヶ年分□六十五錢□

見!!

本誌ノ立論ハ深遠正確ニシテ其觀察亦タ廣汎
帝都政治雜誌中嶄然頭角ヲ拔スルコト既ニ世
定評アレバ敢テ贅セズ大正青年必讀ノ雜誌ハ
唯ダ本誌アルノミ

見!!

論壇

支那國民の覺醒を望む……前支那公使 伊集院彥吉
人權の自由を論ず……法學博士 江木衷
得意の宰相伯爵大隈重信……
一般的人權保護と現行刑法……法學博士 大場茂馬
元老と世論……衆議院議員 小久保喜七
失敗の宰相子爵清浦奎吾……
蘭英二國の盛衰と海上競爭(三)……文學博士 箕作元八
英語教員大會と文部省の責任……慶應大學教授 向軍治
帝國憲政の三大障害……堀田啓一

(□武裝せるモンロー主義 社說)

皇太后陛下御哀悼之辭

(□太平洋覇權論 社說)

代議士短評(四)……某老伯爵
我海軍は果して偏倚せりや……安井正太郎
失意の宰相伯爵山本權兵衛……快洋生
天籟熱罵錄……天籟生
幼稚園に似た帝國議會……古城山人

▲史談▼

リンコルン小傳……生田目旭東
現代浪人の妻の日記……(四)……一記者
讀者俱樂部……

東京市四谷區坂町八十番地
申込所 大日本青年黨本部

御申込ハ必ズ振替ニテ拂込マレタシ
振替貯金口座 東京二五九〇二

外人にして日本を紹介したる
世界的文豪を見よ

小泉八雲夫人校閲　田部隆次著

新刊

小泉八雲

（岡野畫伯装釘）

菊版布製全一册
紙數五百三十頁
寫眞版十八葉入
正價金壹圓八拾錢
郵税金拾貳錢

LAFCADIO HEARN
（小泉八雲）

●自ら「日本人以上に日本を愛す」と言つて日本の爲めに十五年を捧げ十三部の傑作によりて日本の紹介、辯護、解釋を務めし世界の文豪**ラフカディオ、ヘルン**又の名小泉八雲の「**事實は小說よりも奇**」なる事蹟を讀め。

●英人を父とし希臘人を母とし希臘に生れ、幼にして父母に別れ英國と佛國に成人し米國に立身し**最後に歸化して日本臣民となり佛教を以て葬られたる最初の西洋人**なりし此の世界的奇人の面目を見よ。

●その著書二十餘種歿後其文名益々上り今や一部の原稿數萬圓を以て市場に取引せらるゝに到りし、盲目に近き片目の文人が如何なる努力修養を積んで一歩一歩世界の文壇に於ける其地位を占むるに到りしかを知れ。

●著者は忠實に此天才の一生を普く江湖同好の諸君に語らんと欲す。

發兌　東京牛込早稻田　振替一一二三番　**早稻田大學出版部**

（賣捌）神田 東京堂　京橋 北隆館　日本橋 至誠堂　大阪 盛文館　其他

マリイ・バシカアトセフ（天才の女參照）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭必備の三大良書

榎本秋村先生新著

△川端龍子畫伯裝幀

菊版美本
總振假名付

最新刊

偉人の家庭

家庭は性行の鏡
興味溢れ教訓に充ちたる新著出づ

本書は、廣く世界古今の偉人中より數十人を選んで、その一人一人に就き家庭に於ける赤裸々なる私生活を叙す、如何なる感化をその幼時に受け又如何なる家庭を作りたるか。每篇佳話に富み教訓溢る。その處世その修養其他教育嗜好娛樂等巨細を鑿ち興趣津々たる中に吾人に教ゆる處大なり。文章は平易流暢一般家庭の讀み物として缺くべからざる名著也。

價八十錢　郵稅八錢

女子高師教授 文學士
下田次郎先生著

七版出來

胎教

中版上製　價五十五錢　郵稅八錢

子どもは、まだ母の胎内に居る中から教育しなければなりません。本書は、胎兒の教育を懇切平明に說がれたもの、よい子を得んとする人は熟讀あれ。

醫學士
伊庭秀榮先生著

四版出來

安產の栞

菊版美本　價九十錢　郵稅八錢

本書は產科專攻の國手伊庭先生が多年の經驗と學理とにより最懇切平明に安產の法を說かれたもので、妊婦のみならず人の妻たるものゝ爲大なる福音です。

發兌　東京京橋南紺屋町　實業之日本社出版部　振替口座東京三二六番　賣捌　全國各地書店

本社 東京市京橋區銀座一丁目六番地

電話 京橋六四一番
同特長六四二番
同 六四三番

振替貯金口座東京二〇、七五〇番

○生命保險界の一新機軸

東海生命保險相互會社

○最も進歩せる相互組織

支部
大阪市東區高麗橋一丁目二十三番地
電話長東二、二五七番
振替貯金口座大阪一〇、三〇〇番
福岡市博多馬場新町八番地
電話福岡特長五八八番
振替貯金口座福岡三、一〇〇番

監督所
仙臺市東八番町九〇 電話八七四
廣島市下流川九 同一、〇八七
金澤市十三間町一六 同一、一七二
名古屋市中區松枝町一ノ一七 同三、五二六
京城大和町三丁目新道 同一、四六二

資本金 五百萬圓

丁酉銀行

本店 京橋區宗十郎町
支店 日本橋區呉服町
同 深川區富吉町

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

杏雲堂病院
樂山堂病院
育兒會病院
田端腦病院
帝國大學醫科大學病院
橋爪病院
駿河臺病院
土田病院
小林眼科病院
小林耳鼻科病院
木下病院

○樂牛園 牛乳販賣部

○牛乳は樂牛園に限る

○市内ハ遠近ニ拘ラズ迅速ニ配達仕候

產婆看護婦派出
生徒養成

東京市芝區三田四國町二番地五號

東京衛生園產婆看護婦部

電話芝八百六十四番

部長 產婆看護婦 山下まつ子

府下荏原郡大崎町大字桐ヶ谷三百五十九番地

產婆部 大崎支局

◉近來粗惡なる類似品を製作販賣するもの有之候間よく〳〵共盛社に御注意あれ

最近新式

陶玉萬年筆
人造水晶筆

定價

	特別箱入甲號	特別箱入乙號	普通
壹本	金貳拾錢	金拾錢	金五錢
壹打	金貳圓	金壹圓	金五拾錢

一抑も此筆は理學的最新發明品にして學理の應用實地研究の結果製造したる便利と經濟とを兼備する新發明品なり

一此筆は和洋紙を問はず簿記又は細字圖引等には使用輕便自由自在にして從來使用し來れる(ペン)先烏口等の遠く及ばざる所なり

一此筆は使用後洗容易なるが故に壹本の筆にて諸色(インキ)墨等を取換使用し得る便利を有す

一此筆は金屬質と異なり如何なる(インキ)墨を用ゆるとも筆先の腐蝕及磨滅する恐更になし以上の特色を有するが故に發賣以來非常の好評を博しつゝあり江湖の諸君是非御試用御用命賜はらん事を

發賣元

東京市淺草區駒形町四十三番地

合資會社 共盛社營業部

電話下谷六千十九番

振替口座東京七二四三番

◉取次販賣又は行商望の方は本社又は特約販賣店に申込あれ

◉本社へ照會は(往復はがき)に限る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オモチヤ

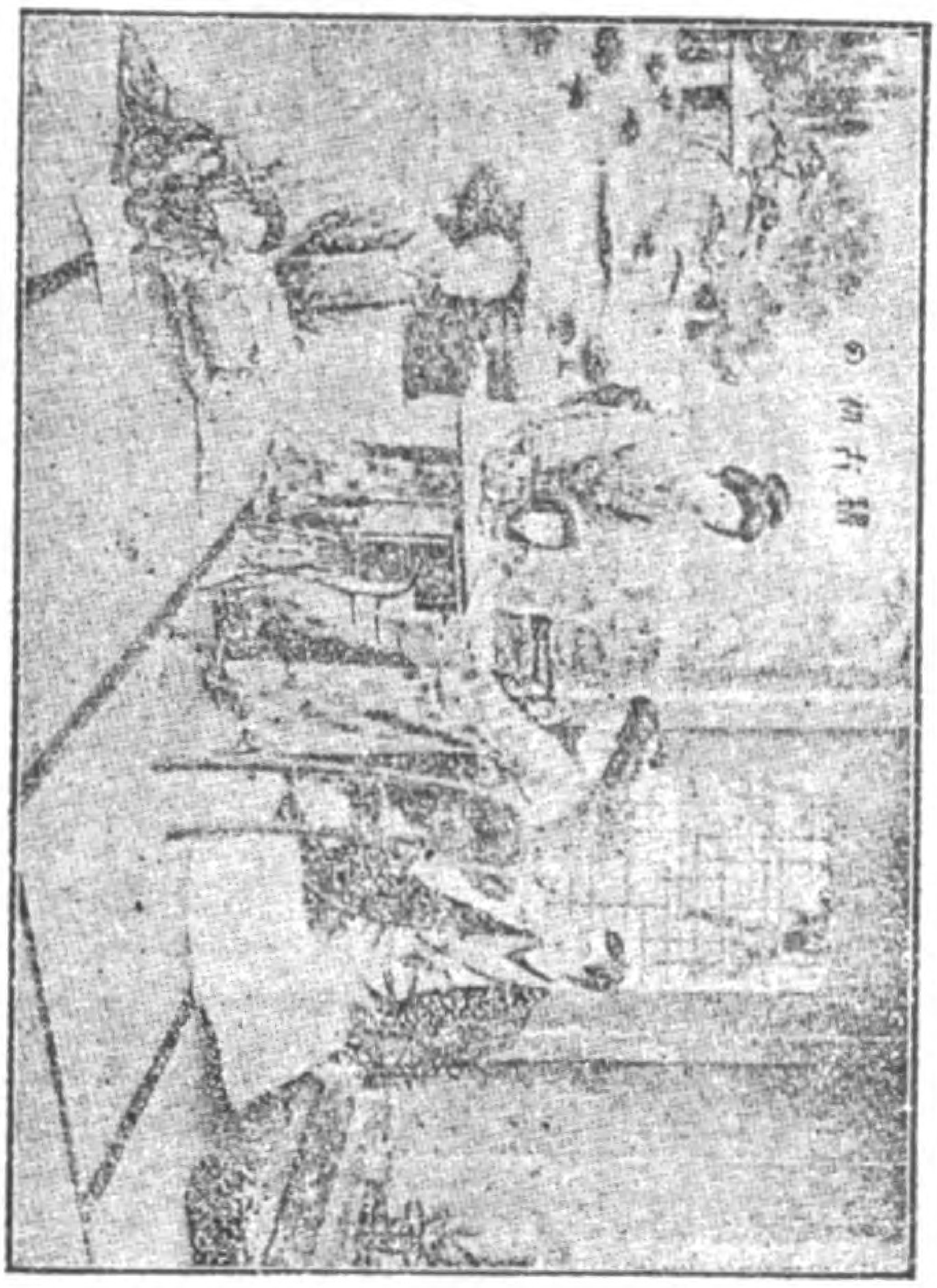
伊東屋玩具店

電氣や、蒸汽機械の模型玩具、
汽車や、汽船、飛行機の模型玩具
其他おためになるオモチヤ
めづらしきオモチヤは
東京銀座三丁目の
伊東屋玩具店にあり

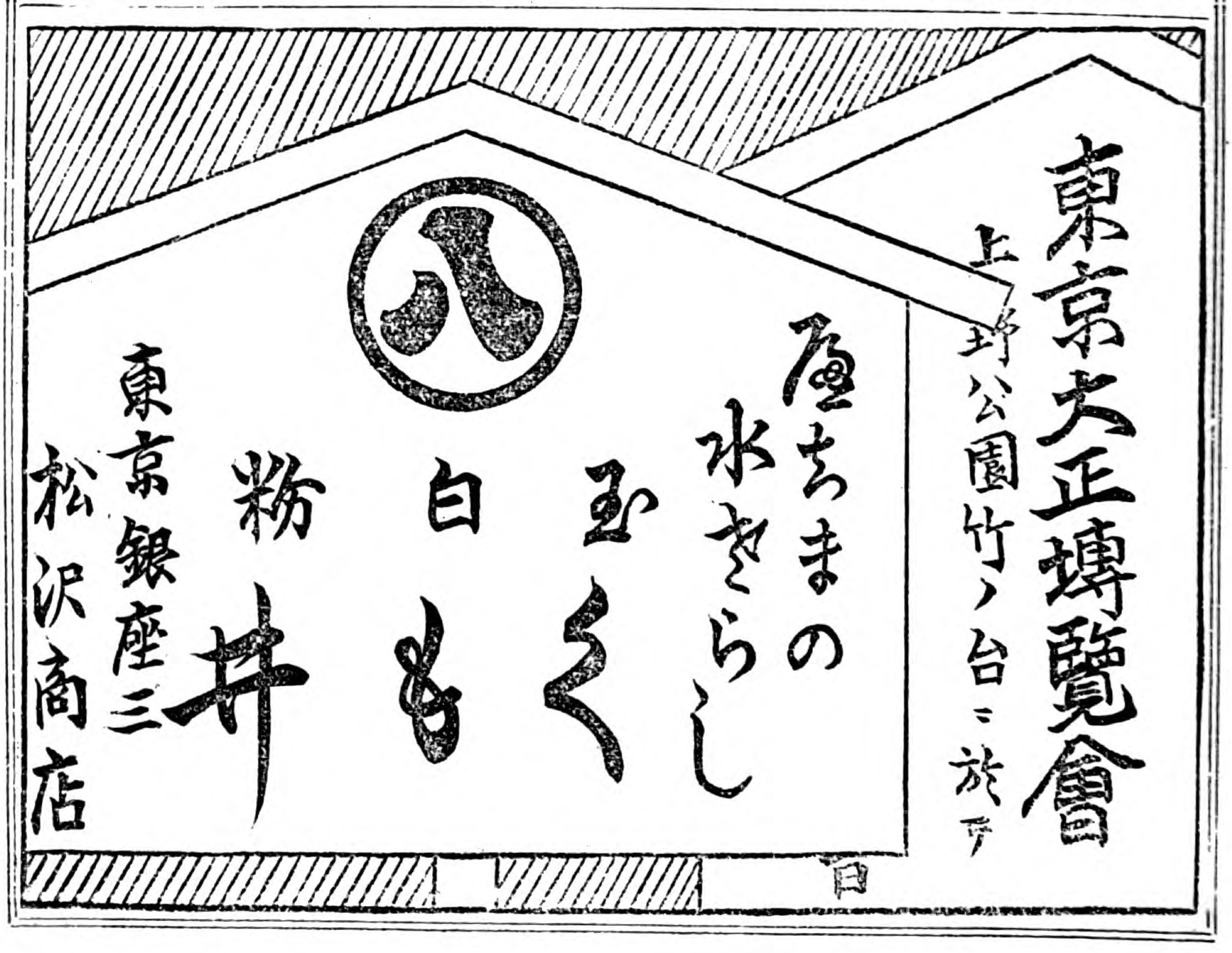
電話は京橋二五二三番
振替口座東京二〇四四五

東京市日本橋本町二丁目九十番地
シンガーミシン會社
東京販賣部
電話本局一九八〇番

○手ミシン四十圓より五十六圓位
足踏ミシン六十五圓より百五十圓位その他格安品も澤山準備してあります。



○弊社販賣部には熟練なる女教師在勤、無料にて教授を致します。
出張教授も無料で致します。

洋傘 鞭杖 帽子
卸 小賣
最新流行
婦人持傘
白色骨
金銀色骨
惣レース張
種々
流行洋傘
文政元年開業
仙女香 坂本商店
東京市京橋區南傳馬町三丁目（電車停留場前）電話京橋一四四六
洋傘 鞭杖 帽子

東京大正博覧會
上野公園竹ノ台ニ於テ
白
粉
東京銀座三
松沢商店

精靈の閃光の中に新しく生きよ

女子文壇

五月一日發行十卷五號

定價一冊十五錢　一ヶ年一圓七十錢　一分四錢

●奉悼………記者
▲夏籠………水野葉舟
▲僞（アンドレエフ）………柴田勝衞譯
○輕語集………愛花生
○點滴………XYZ
▲晶子氏の新譯源氏を評す（八）………日向きむ
○春………畔藤こと子、夕山もちぢ、月路たへ
▲火山の麓………山田邦子
△結婚と性愛と（二）………宮澤六郎　田山花袋
▲近代名作集………國木田獨歩氏小品篇
○悲しみの夢………江森よし子
○小曲………みもすて川
▲少女の知らねばならぬ事………千清太郎
▲五月の追懷………三ヶ島葭子
○故郷………わくらは、橘まゆみ、松崎輝子、原田琴子
▲婦人讀書室………文藝叢書各種

發行所東京丸ノ内　婦人文藝社

久津見蕨村先生新著

ニイチエ

四六判美本
定價九十錢
郵稅八錢

最も早くニイチエを日本に紹介したる人は久津見先生なり最も深くニイチエを研究したる人は久津見先生なりニイチエを祖述してその著書の發賣を禁止せられたるものも亦實に久津見先生なりとす蓋し邦人のニイチエを解するもの先生の如きは未だこれあらさるべし本書は先生がニイチエに對する全理會を傾倒して極めて明快にニイチエの全豹を描出したる名著にしてニイチエの性格、ニイチエの事業、ニイチエの思想、ニイチエの哲學、ニイチエの世界觀、ニイチエの人生觀、ニイチエの理想の各章、爛熟の想を行るに奇峭の文を以てし人をして世界の哲聖ニイチエの前に立ち親しくその說を諦聽するの感を起さしめずむば止まざらんとす

久津見蕨村先生著
眞人僞人
定價一圓
郵稅八錢

久津見蕨村先生著
現代八面鋒
定價八十錢
郵稅八錢

東京小石川原町六
振東京一五六八六
丙午出版社

東京小石川原町六
振替東京一二五三
鷄聲堂

法學博士和田垣謙三先生序　前田雪子譯

最新刊

フランス文豪小品

モーパッサンの短篇小說數種とフランス現代小說家八名の短篇小說とを精選して、直接フランスの原書より飜譯し、成る可く原語のトンを寫すことに努めたり、佛蘭西文學の精華は雪子女史の筆に依て光彩陸離たり。

紙數三百廿頁
裝幀清雅
總クロース箱入
定價八十五錢
郵稅金八錢

佛文學に精涵せる
雪子女史の譯成

—（內　容）—

●報恩の重荷（エーヂウ●ツレモア）
●燐寸（シヤール●フオレー）
●ローズ町（ガストン●ダウリ）
●寡婦の子（佛國學士會員ジユル●クラルシー）
●女の心（スパール）
●折釘（シヤール●フオレー）
●結婚（レオン●フラピエ）
●劇場の一夜（アルマン●シヤルバニチ）

●ヅニ（モーパツサン）
●不具者（モーパツサン）
●歸省（モーパツサン）
●女の裝飾（モーパツサン）
●ピエロ（モーパツサン）
●菫の人（アンリ●ツ●フオルチウ）
●狂女（モーパツサン）
●附錄（某婦人の見たモーパツサン）

發行所　東京市麴町區平河町五　振替口座東京二〇九一[illegible]番　洛陽堂　電話番町四二五八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人第十三號

皇太后陛下の御崩御

皇太后陛下には、去る四月十一日午前二時十分、寶算御六十五歳にて御崩御あらせられました。謹んで哀悼の意を表します。

陛下は歌人としても世界に御名を知られ、去る明治四十年ノーベル選奬候補にならせられたともあります。御製の中で、私の常に拜誦し奉れるは

淺くともせけば溢るゝ谷川の
心や民の心なるらん

の御歌で御座ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

男は女の光。女は男の光

西川文子

男は女によりて向上もすれば、墮落もします。又女も男によりて向上もすれば、墮落もします。私は近頃古人の傳記を研究して居るが、此の研究中、痛切に此の事を感じましたから、本號に於て、少しく其のお話をして見たいと、思ひます。先づ

湖畔詩人の光は妹なりき

ウォルヅオスのことから話しましよう。ウォルヅオスは少年の時から、怒りつぽい、冷かな所のある、而して沈鬱な性質の人であつたが、其の青年時代に佛蘭西に遊び、革命の慘劇を見て歸つてからは、一層沈鬱な人となつて了つた。若しも此の際、彼を救ふものがなかつたならば、沈鬱は彼の才を伸びしめなかつたであらう。彼の精神を殺して了つたであらう。然かるに幸なことには彼に一人の妹があつた。此の妹は不思議にも性質が彼とは丸で反對で、極めて快活な、又極めて溫情な婦人であつた。而して彼は此の妹によつて救はれたのであります。此の兄妹は小供の時に大の仲よしであつたが、其後は別れて居た、而して彼が沈鬱の絕頂に達した時、妹が來て再び同居することになつたのであるが、妹が彼の室へ這入つて來ると、彼は日の出た如くに感じ、妹が室から出て行くと、彼は日の沒した如くに感じたと云ふことであります。彼にとり其の妹は、光り輝く信仰、遠ざけ難き信仰であつたのであります。彼女が彼の精神を滑かにする非常な力を持て居たことは、彼の傳記や詩を讀む人々の、直ぐに氣の付くことであります。

スヰフトに愛人なかりせば

スキフトは英國に於てアヂソンに次ぎての論文家でア

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヂソン去て後は彼と比肩し得る論文家あるなく一時彼が英國に於て最も感化力ある一人であり、彼の一言一句が珈琲ハウスの話題となつた時代もあつたのであるが、此の人にもウォルヅォスに於けると同じ事實があります。

スキフトも沈鬱な人であつたが、愛人ステラーを得て後は、彼女の同情とやさしさと快活とは、スキフトの沈鬱な精神にとり、唯一の力であつたのでありますステラー死して後、スキフトはダン／＼沈鬱の度を増して、其の精神の光輝を失ひ、而して其の生命も失ふに至つたのであります。

アシ、イのフランシスにも
慰藉者ありき

フランシスは富有な商人の子であつたが其の信仰高調に達して家を棄て何者をも棄てゝ基督を模倣し遂に其の兩手に釘跡があるに至つたと云はるゝ程の人であります。此の人の偉大な信仰に引きつけられて當時多くの人々が家を棄て、遂にフランシスカンと云ふ一宗敎團體が起り、先づ伊太利に勢力を振ひ、後には歐洲に勢力を振ふに至つたが、彼の仲間は、一物をも携へず又一語も其の國語を知らずして、其の國に入り、而かも直ちに改宗者を出した、熱心と云ふものは恐ろしいものであります。フランシスカンの中には婦人の一團もあつたが、最初に父母を棄て、家を棄て、フランシスに從つた婦人は、セント、クレヤーであります。彼女は其の十七歳の時に、一日、フランシスの説敎を聞きて感動し、父の家を棄て彼に從つたのであるが、其の妹も姉に見習ふて父の家を出て、フランシスの弟子となつた、二人の娘に反き去られた父は、フランシスを憎むこと一通りでなかつたと云ふことであります。フランシスに就ては色々の話があるが、彼の傳記を談るのが玆の目的でないから、夫れには談り及ばぬこととします。

さてフランシス程の、神々しい人でも、其の人間である以上は、私共凡人の樣に、心が弱くなり、悲しく

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なり、他人に慰めらるゝことを必要とする時があつた此の時に彼を慰め、彼の弱る心を強くしたものは、セント、クレヤーであつたのであります。

文豪ステッドの作文の秘訣

先年タイタニック號と共に大西洋に沈沒した『評論の評論』主筆ステッドは、我國人中に廣く知らるゝ英人中の一人であります。此の頃此の人の子が『我が父』と云ふ本を書いたが、其の中に斯樣な一節があります。

父は其の十八歳の時、村の醫者の妹で、當時二十八九歳であつた一婦人を戀しましたが、戀人は間もなくエヂンボロオへ行つて了つた。其後幾年かの間、父は此の婦人へ、必ず一週間に三度づつ誠心誠意をこめた一生懸命の手紙を書き送つたが、此の間に父は知らず〱文章が上手になつたのでした。されば後年、青年の來りて父に作文の祕訣を問ふある毎に、父は

自分より十二歳位、年上な女と戀せよ、而して離れて居て、切りに手紙を書くとよい、之れが何によりも作文の稽古になります。

と云つて居ました。

一寸聞くと、後に世界を動かす程の妙文家になつた彼が、其の昔、戀文で文章の稽古をしたと云ふことは、滑稽に聞えますが、ソウではありません。私は此の一逸話の中に深い教訓があると思ひます。戀人に手紙を書く時の樣に一生懸命にならねば、人を動かす文章は書けるものでありません。ステツトが玆に文章の秘訣ありと云ふに、何んの不思議もありませんが、其外に此の戀人が彼の靈魂に光と生命を與へ、彼の精神を育てたものであることも認めねばなりません。人は學校でのみ教育さるゝものではない、男女共に其の愛人によりて教育さるゝことの多いものであります。

ヂヨーヂ・エリオツトの奬勵者

エリオツトは英國の閨秀作家中、心理小説家として有名な人であるが、彼女を奬勵して小説を書かせたものは、其の愛人レウイスであります。若しレウイスの奬勵と鼓舞なかりせば、エリオツトの天才も、斯程までには現はれなんだでありましよう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ストー夫人

の名著『アンクルトム・キャビン』は、米國で其の最初の一年間に三十五萬冊賣れ、英國及び其の殖民地で前後合せて五十萬冊賣れ、尙ほ獨、佛、其他の國語に飜譯され、此の一書の力はリンカーンの力、ガリソンの力よりも、奴隷廢止運動に影響する所大であつたのであります。

此の名著は元より夫人の天才の產物であるが、若し其の夫、ストー敎授の如き、精確なる智識と、物語を話す人として非凡の才能ある人の、之れを助くるなかりせば、之れ丈けの名著にはならなかつたかも知れませぬ。序手だから申して置きます、ストー敎授の出勤せる學校は貧乏で、俸給を約束の半分しか拂はない、學校敎師で月給が半分しか貰へぬと云へば、其の貧乏さ加減が察せられます。ストー夫人は此の貧乏世帶を切り廻はしながら七人の子を育て四十になるまで、全く臺所の事と育兒の事に沒頭して居たのであります。ソレでも一度び感憤して立つと、此の貧乏と多忙の中にありても、彼の名著『アンクルトム』が書けたのであります。志のある所道ありです。世の御夫人方、多忙を以て、自己の無志の辯護としてはなりません。

生命の爲めの智識

生活の爲めの智識ならば、男は女によらず、女は男によらずして求めることが出來るが、さて生命の爲めの智識となると、男は女によらず、女は男によらずして求めることの出來ぬものであります。男は女によらず、女は男によらずして、完全な人には成れぬものであります。此の故に私は、男の光は女、女の光は男であると申すのであります。

女は男の敎育家である。男は女の敎育家である、私共は此の點を、より深く考へて、益々其の責任の重きことを自覺せねばなりません。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

香について

日向きむ

三月廿五日の萬朝に茅原華山氏の『香の哲學』といふ論文があつた。香といふものが比較的日本人に注意されてゐない、香に關する文學も哲學もまだあまり公にはされてゐないといふ樣な事について種々面白い例をあげ、終りにちかく「若しそれ心眼てふ字面にして用ひ得べくんば『心鼻』なる字面亦用ふべし、直覺力は卽ち心の鼻にあらずや」とあつた、本當の鼻の思ひ出か所謂心鼻の作用か知らないが兎に角五月の野邊のそよ風にあふた樣な快い氣持がした。

私はこの香といふ事に就ては、所謂心鼻に嗅ぎ出した事が少くない。それが誰にも誰にも一般に匂つてゐるものかも知れないがそれでも私は私自身で嗅ぎ出したので他人から匂ふと暗示されてから匂ふ樣に思ひ出したのではないから確實に私が嗅ぎ出したと云ふ事が出來る、私は心の鼻の方の自慢はまだ〳〵出來ないが外にある鼻の方の感覺は病的かと思ふほどに鋭い。私が此野末の庵に引移つて來た時、庭に旅人のすげ笠を支へさうに雜草が繁茂てゐた。それは雨あがりの夏の晝であつたがその草の中に佇むで母屋の方をながめてゐた私は『この庭の中にキット何かの骨がある』と獨ごちた『まあ氣味の惡い事を』と傍にゐた、家の者は云つた、私は確實にさう信じてゐた、その翌日草を苅らせた時、一さうそれを感じたので散歩しながらとめていつて、一番ひどいと思ふ處へ、ほそい竹を立て〻歸つて來た、それから又二三日して、松を植ゑる爲に植木やがその邊を堀つたら、馬の頭から肋までの骨が出た。その時から家の者は、私の嗅覺に敬意を表してポチと共通のあまり名譽でもないかもしれぬ天才を認めると同時に、食物の鑑定お毒みの役は專ら私のものとなつた。骨の臭ひを知つてゐた譯は、前に或る人が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本當の人間の骨（頭ばかり）を飾りもの丶樣につくりあげて贈つてよこした薄や美人の幅をかけた時と云ふといつもそれを床の置物にしてゐた、或る夏の日、大掃除の時に、大きい土佐犬が何時の間にかくはへ出してまばらになつた齒のあたりへきずをつけた、折惡い俄あめにほした物はあわて丶取りこんだが知らぬ間にくはへ出されたものは矢張知らずにそのま丶置いた二日程して女中が見出して持つて來た時、少しあらはれた骨の髓に雨が泌みて又日光にかわかされたので一種の臭ひが鼻を襲ふた。私はそれを記憶してゐたのである又ある時は先代萩の八汐の樣にしのびの者ではない鼠のなきがらをこ丶とさして天井から下した事もあつた師走の風の、人についた香、あぶら蟲の住家の香はまだなこと一丁さきの山羊の牧場まで私はそれといひあてた、是等の香はあまり人を樂ませるものではない。けれどもかくされた、うちの世界をのぞかせた丈の意味はある、日本にもむかしは香合せなど云つて、（今でもあるが）それが比較的幼稚なものであるとしても兎にも角にもそれに就いての硏究會ともいふべきものが重に上流社會に行はれた。源氏物語などにも香の事は大ぶかいてある、源氏の君の御衣の香はほかの人とは全く異つてゐた、その追風、移香などひとが怪しむ程のものであつた、なほ薰大將、匂宮など皆、た丶ひない、香をあたりに漂はせたとある、このころの人々は今の樣に科學的な分類や哲學的な考へ方はしなかつたであらうが、やはらかい、極自然な感じの上から相當に趣味は持つてゐた、茅原氏の論のうちに『嗅覺は實用品であるといふよりもむしろ贅澤品である』とあつた、私は香をもの丶生命であるといひたい、無韻の詩であり、目に見えない色彩であり、耳に聞えぬ音樂であるといひたい、この香の世界の法則を知る事の出來る神祕の鍵を得たならばそこにどれ程の生命とたからが發見されるかわからない、詩と音樂と色彩と香とは決して別のものではない。私はそれを熟視したい而してそこにかくされてゐる神聖な沈默と秘曲と禁色と一つに落ちて流れる河の源をつきとめて、神祕な奧義の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一雫を汲んで見たい、昔、人の人格や品性のほのめきを匂ひとよんだ事がある、竹取の樣な古い物語のうちにも彼のかぐや姬をほめる詞に『世にたぐひなき匂ひ』などかいてゐる、香はそのもの丶内部生命でなくて何であらう、茅原氏の『生命溢る丶處に淸香あり、生命盡る處に惡臭あり』といふのもこの事ではあるまいか香はそのもの丶個性の表現である、花の香も各々その人格否花格をあらはす歌をうたひ色を語つてゐる樣に空中に漂はせてゐるはその氣を吐いてゐるのである。ミリオンネットはヂョレニアムより花の品において上ではないか。薔薇の香の調には粹と嬌と愛と永遠の春がある、白百合の香ひの詩には、純潔と靜寂と憧憬と悲哀がある、ミヨゾチス(勿忘草)の小さいあさぎの眼は誠實と可憐の情を訴へてはゐないだらうか、湖畔詩人の見たダフオデイルス(黃水仙)は黃金の歌をうたつて吹く風に希望の踊りを踊つてゐたと云ふ、詩と音樂と色彩と香とは入口のちがふ一つの家である。

私は白と紫と薄紅(とき色)の香とを少し知つてゐる黃もこのごろは幾分かわかる、白と黃と一致した香は水仙が代表してゐる、花には白百合ほど純白な色と香を持つたものがわりあひに少い、尤も純白といふ色がそも〱眞の白色といふものではない眞の白色は無色の樣なものであるといふ樣なむづかしい定義は別として先雪白を純白といふわけにしてその純白が、わりに少い、白い花といふのを見ると極く〱少量の黃か少量の薄紅梅を含んでゐる、それは殆んどわからぬくらゐ。それでもその爲に香の方には複雜な微妙な變化を起して來る。してみると色としてのあらはれより香としてのあらはれの方が、より多く微妙な、したがつて高尙な生命を語るものであると思ふ。丁度人も外見の色よりもうちの思ひがより深くより高くより微妙にはたらく樣に。

山間の雜木や雜草に這ひまつはつたすいかづらの花や、布哇島の夕に咲く『夜の香』と呼ぶ花や『たいざんぼく』の鮮かな綠の葉がくれに白く笑つた花のうちにほのかに、黃と薄紅の香るのは偶然ではないのであ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、口なしの花は黄を實に殘して己れひとり純白に咲くのがまた面白い、香にもの丶思ひを知り、色に言語と歌を解したら、私たちと萬物の間に横はつた溝は埋められ、ひかれた幕は除けられて、むかしながらの樂園にあそぶ事が出來るにちがひない、外がはの鼻を介してこんな事を心の鼻で嗅ぎ出した私は、もくせいの香を初めて風がのせて來た秋の夕の樣に何とも知れず心がときめく、人の香も人の色も人の詩も人の音樂もみな僞る事の出來ないあらはれの法則によつてそのまゝにあらはされてゐるのである、たゞそれを種々に見種々にきゝ、種々に嗅ぐのは自らの感受性のかたよつたはたらきによるのである、あたへられた分量即ち色彩の素質によるのでこれも微妙な配合にほかならぬ

あゝ私たちの靈はいつまでしびれ藥に漬つゐるのだらう。

* * * *

第五回蛙聲會

四月九日　巣鴨宮仲の伊藤朝子さんの御宅で第五回蛙聲會を開きました。朝子さんの御宅は眞に野中の一軒屋の趣きで、うらに野川が流れ赤い小さい橋がかゝつて居るのが、一きは風情をそへてあたりの杉木立や秋の野分をおもはせる樣な野趣が丁度この家の廣い〳〵前栽とも見える、何とも云ひ知らぬ景色です。眺めに乏しい都會生活をして居る私は本當に靜かにこんな座敷で二三日靜養したいと思つた。

此日摘草會の筈であつたので私は山口夫人と二人で十一時前に往きましたが、誰方も居らつしやらない、家が分らぬのだらうと伊藤さんは見にいつたりして居らつしやる、間もなくもう絶望して歸らうと思つたと云ふあぐりさんがやう〳〵さがし當てゝ來られ平澤ふく子さんも、道に迷ふてあまりさがしあるくので、同じく家をさがして居るらしい、洋服すがたの男の人と懇意になつて了ひましたと云つて來られた。あまり風が烈しいので他の方は見えなかつた、自然摘草會はやめにして、大に語る事にしました、朝子さんの御良人の證信さんも居られましたので、人生研究や宗教問題について續々質問を出されたり、文藝や劇についてもいろ〳〵おもしろい話がありました、私と山口夫人とはこの間に訪問しなければならぬ處がありましたので四時近くに殘り惜しい別れをして歸りました(文子)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小善録

家庭へ教員招待

米國の或小都會の、B夫人は、其小供の通學して居る學校の樣子を、親も知つて置くの必要があると感じて毎月半日づつ、小供の通學せる學校へ行て、時間を費やす事にした。其の結果として、夫人は其の町に、自分の小供の通學せる學校の樣子を知らぬ親達の多き事と、町の親達が教員に好意を表さぬので、教員達の寂しがつて居る事とを知つた。而して之れが又、善良な教員の永く此の町に足を止めぬ所以である事を知つた。ソコで夫人は率先して自分の家庭へ教員達を招待し、其の友達にもス、メて、各其の家庭へ教員達を招待せしめた。斯くて次第に家庭へ教員を招待するものが増加し來つたので、教員達は勇んで其の職務に勉勵するに至り、町の人全體も一層教育に注意する事となつて此の町の教育事業は大に發達したと云ふ事である。

如何にして電柱を飾らんか

米國の或町の或夫人が、自分の家の前の電信柱の如何にも不風流なるを見て、之れを何んとかしたらばと考へ、色々と考へた末、其の傍に生長の速かな一の蔓を植ゑた。蔓は忽ち伸びて電信柱に捲き付き、春より秋、落葉して了ふまでは、電信柱を立派に飾るに至つた。之れを見て次第に、己れも己れもと、各自其の家の前の電信柱の傍に、蔓を植ゑるものが増え、遂に其の町は美しい町になつたといふことである。

苗　木　交　換　會

花園村——一夫人の力

米國マサチユセエツの或村に、一人の貧乏な夫人があつたが、彼女花を栽培するのが好きで、其の小さき庭に色々な花の種を蒔くを常として居つた。或時此の夫人は自分の庭に植ゑてある花の種を、精々餘計に取つて、餘分は隣人に分ち、隣人をもダン〳〵自分の樣な花好きにしようと考へた。十數年の後には、此の一夫人の力で、此の村は花園村の如くなつて居たと云々事である。

苗木交換會

米國ニユゼヤーシーの都市改良協會の集會の席上で、一會員がコンナ事を云ひ出した。此の町に、春、庭木の根分けをしたり、花園へ種蒔をしたりする時に、餘つた苗や種子を捨てしもふのが少なくない。コウ云ふ餘分の苗や種子を持ちよりて互に珍らしきものと交換する事にしては、どうだ。

此の發言は、直ちに熱心な贊成者を喚起し、直ぐ實行さるゝ事となつて、此の町の人々の間に、花を賞する精神を普及し、又町の各所に美しき花咲く小公園を多からしむるに至つた。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

衣食住に就て

佐治實然

先づ住、即ち家の事から話しましよう。

家

住み心地のよい家と云ふのが、家に對する私共の理想で無ければならぬ、ソレには寢室と浴室と臺所と、而して居間とに重きを置きて家を建てねばならぬ。客室の如きは家の附けたりに拵へたものでなければならぬ。西洋人は此の理想に從て家を拵へるから、一寸した家でも其の食堂や浴室が仲々立派である。然かるに日本人は封建時代の風習を受けて、今でも客室に一番重きを置き、千圓の普請に、客室に五六百圓もかけることがある。昔、封建時代に於ては、武士以上の者の家に於ては、敷居一つが却々六つかしかつたもので其の影響が平民の家にも及び、而してソレが今でも遺つて居るのである。早く斯かる風習を打破して、住むに心地のよい家のみが建てらるゝ樣に、なることを希望せざるを得ぬ。

衣服

次に衣服に就て話しましよう。衣服に對する私の理想は、何時でも、何んな席へでも屈託なしに出られる樣に、道具を揃へて置くことである。で生活の程度が高くなれば、往く所も增え、又其の往く場所に相應すべく立派な衣服を拵へる必要も起つて來るから、自然被服費も多くかゝる、今は和服ばかりですが、元、洋服も着た時分には、和服を嚴寒から酷暑に至るまでのもの禮服から一通りを揃へた上に、洋服もフロックとモーニングと背廣を揃へ、帽子もシルクハットと山高と半折とを揃へ、又靴も塗り靴、護謨靴、半長と三足揃へて居た。而して置いて、いよ〳〵惡くなれば、ソ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

レを補充し、又洋服と和服との關係はフロックで行かねばならぬ席へは、紋付でも行けるから、フロックを新調した場合には、紋付の方は少しは惡くなつて居ても我慢すると云ふ風にして、被服費の節約をして來た。常着には外出着の古くなつたのを用ひ、一度も常着を拵へたことがない。

右は衣服を拵へるに就ての私の理想であるが、衣服を着るにも私には流儀がある。ドウ云ふものを着て行かねばならぬと、定まつた席へ出る場合は別だが、ソウでない席へ出る場合には、行く家の座敷の模様と、同席すべく豫想さるゝ人々の身分などとを考へ合せて着て行く、之れが衣服を着るに就ての私の標準である。例へば私の樣な金看板の平民でも、時には百萬、二百萬の財産家へ招待さるゝことがある、ソンナ場合には、其の家の座敷、其の同席者たるべき人々の身分も豫じめ想像さるゝワケであるから、其の家の座敷を汚さぬ樣、同席の人々にいやがられぬ樣考へて衣服を着、足袋なぞは特に注意して履いて行く。之れとは丸で反對に、日露戰爭中、麻布區の出征軍人の家族を見舞つたことがあつたが、ソンナ場合には常着の上へ、裾の切れた袴をはいて出かけて行つた。ソレでも九尺二間の割長屋へ行て老爺さん、婆さんと同席して見ると、我が衣服の方が立派であつた。又私は銀座の鳩居堂へ香木を買ひに參り、序手に日本橋へ行て鰹節を買て來ることもあるが、ソンナ場合には、常着のまゝで、下駄も一番惡いのを履いて行く。仕事が丁稚の仕事であるから、衣服や下駄も丁稚位の所でよろしいのである。要するに私は外出するときは、其日の資格を考へ、ソレから判斷して着かへて行くのである。

食　事

ソレから食事に就ても、私には私の流儀がある。寒中なぞ、物の惡くならぬ時分には、臺所で手が餘つて暇のある以上、私は副食物を七色でも十色でも十二色でも乃至は十五色でも拵へさして、ソレを廣蓋の上へ並べて置く。ソウして置けば家内が病氣をしたり、女

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中が外出する樣な事があつても、困ることがないし、若し客があつても、豆腐汁の一つもすれば、別に何にも拵へなくして御飯を出せて、甚だ便利である。食ひ盡した場合に、家内が病氣にでもなると、私は白味噌の豆腐汁とか、辛くても甘くても食へる燒豆腐とかを女中に命令する、女中には女中で出來ることしか命令しない。若し又家内も女中も外出した場合に、何んにもない樣なことがあると漬物一つでゞも我慢をする。世には一汁一菜を唱へる人もあつて、十二色も副食物を食べると云へば、如何にも贅澤であるかの如く考へる向もあるが、十二色拵へても十二度に食べれば、經濟上では同じことで、衞生上にもよろしく、色々のものを少しづゝ食べると、不味いものも甘く食べられると云ふ利益もあるではないか。

其の食べ方にも流儀があつて、拵へてから日數の立つたものから片づけ、又大きな入物に二三切れ殘つて居る樣なものは不體裁であるから、早く片づけて入物をあける樣にする。

掃除

衣食住に對する私の考と、仕方は右の如くであるが、家を清潔に保て行くことに就ての私の仕方は左の如くである。

私は家を清潔に保つことに就て、第一に大事なことは、家の中に不用な道具を一つも置かぬことであると考へて居る。疊一枚五十錢に相當する家賃を拂ふて居るのだから、疊半分を小箪笥なぞで塞ぎ、其の小箪笥の中に三圓位の價値しかないものを入れて居るとせば三圓の品物に對し、毎月二十五錢の倉敷料を拂ふて居ることになる。考へて見るとコンナ馬鹿らしいことはないが、多くは家庭では此の馬鹿らしいことをして居る。

ソレから、山間の御堂で數百年風雨にさらされて白くなれるもの、之れが私の家屋に就ての理想であるから、水雜巾を使はぬと云ふこと、玄關前と、臺所の方、雪隱、湯殿の裏などは、芥一本もない樣に掃除をしてあるが、庭の方は、深山の趣が好きなので箒を入れたことがない、時々汚ないものは手で拾ふて棄てる丈けである。落葉なぞは其

の儘にしておく、落葉は山の色彩であると云ふこと、及び箒と拂塵の使ひ方に就ての話などもあつたが、佐治先生の掃除哲學は別に又御紹介したいから、茲には略して置く。斯く一通り衣食住に就てのお話を承はりて後、記者は日本人の中には其の日常生活を有趣味にすることに力を致す者の如何にも少なきを慨き、是非先生の樣に衣食住に就て、チヤントした考へのある人を増さればならぬと云ふと、先生は、ソウです、私は

衣食住の上に各人の個人性

が充分現はれる樣になることを希望するものだとて、又も談り出でられた。

昨年の十一月、私は北多摩郡の或小學校へ講演に行つたが、日暮に會場から國分寺の停車場まで一里半程の間、車で送られながら、沿道の大きな農家で風呂を沸せて居るのを澤山見た。其の風呂桶が何れも軒下に据ゑられたまゝであるので、寒中アンナ所で入浴することは、老人、小供にとり如何であらうかと思ふと共に、日本人が其の日常生活を改善するに如何にも冷淡なのをツク〳〵感じたことであつた。大きな農家の主人は、東京へ出て來ると、娘の爲めに數百圓の買物をして歸る、努力なしに威張れるものには金を出すが、浴室を改良したり臺所を改善したりする工夫は少しもしない。西洋人はそこになると偉い、西洋の文學に現はれた所で見るに田舍紳士はソレ〳〵工夫をして、都人士をして羨望に堪へざらしむる樣に生活をして居る。私は日本人の缺點の茲にあることを承知して居るので、右に申した樣に、衣食住の上に自分の理想の實現さるゝことに努め、尚ほ

佛壇

自分の佛壇は珍無類である。自分の佛壇には、父の頭蓋骨の一部と、小石二つと、小供の乳歯と、及び二文錢としか置いてない。私は此の頭蓋骨を嗅いで見、握て見て先祖の恩を思ひ、次に二つの小石、之れは千住の小塚原から拾つて來たものである、私は此の小石を嗅いで見、握て見て、維新の功臣のことを思ふのである。次に乳歯によりて子孫のことを思ひ、二文錢に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よりて、乞食も顧みない樣な錢で生活するのが、私の理想であることを繰り返して思ふのである。床の間にも香爐に楓の小枝をさしたものしか置いてないが、此の楓の小枝は、母を埋めた土の上に生えた楓の小枝である。私は之れを見ながら默想し、此の小枝に母の血の通へることを思ふのである。と云ふ風に、私の家にあるものは、一木一石の上にも私の考が現はれ、工夫が現はれて居るのである。私は又

趣味の代價

を可なり拂ふて居る、此の庭先にだとて、彼の道路に向つた方に、四軒の家屋を建て、一軒十五圓の家賃をとれば月に六十圓上る、私は深山の趣が好きである爲めに、ソレ丈け代價を拂ふて居るのである。晝、室内に電氣燈がブラ下がつて居るのが如何にも忌いで特別工事をして貰つて、晝は電氣燈を見えぬ所へ取り去つてあるのだが、此の特別工事に、六十圓拂つた。私は

私の流儀

に習つて貰ひたいとは思はぬが、日本人の多くが其の日常生活の上に、遠慮なく其の個人性を現はす樣になつて欲しいと思ふ。其の家庭内の一切のものゝ上に家人の心持の現はるゝ樣になつて欲しいと思ふ。

春の歌

座古　愛子

岡若草

菜の花の咲き出づるまでは廣野遊と
　おなじみどりの岡の若草

うるはしく萌え出でにしをあなをしや
　牛踏みあらす岡の若草

幼稚園

今年より通ひはじめし幼稚園
　母のひざもとしばしはなれて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家庭趣味

マスター、ヲブ、アーツ　中村嘉壽

收入以上の生活

日本人の多數は、收入以上の生活をして居る、之れが家庭を危險ならしめ、社會に樣々の弊害を起すに至る根本です。西洋人は先づ月給の四分の一は貯蓄し、餘の四分の三で生活することに定めて居る、ソレだから彼等の生活は健全なのである。

日本人は收入以上の生活をして居るから、道ならぬ金でも取りたくなり、又ソレが見えてるから、人を利用しようと思ふものに付け込まれるのである。西洋でも人の處へ物を持て行くと云ふ習慣がないではない、併しホンの福分と云ふ位のもので、價値を標準としたものを持て行かない。日本のは價値を標準として居る。或商人は色々工夫して、金の名刺を持て歩くに至つたと云ふ話さへあるのです。

又彼の御馳走政略なぞも、右に申した樣な付け込む點があればこそ起るのであつて、會社員なぞの中には、何某御馳走に幾百圓入つたと、帳面に書き込んで置いて、實はソレ丈けは費はず、殘りを着服するのがあるソウです。ソレで後ちに何にか事件でも起つて、ソンナ帳簿が引き上げらるゝことがあると、御馳走になつた人が大きに迷惑するソウです。外國にも、御馳走政略は丸でないことはない樣ですが、ソンナことを決して記錄にはのこさぬ。

時間を守らぬ習慣

日本人はダラ〳〵と仕事をする、事務所へ遊びに來て無駄話をするものがある、ソンナ樣なことから、時間を定めて家庭へ歸ることが出來ない。甚しきは、一番おそくまで居るもの程上役に信用さるゝので、用も

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ないのに居殘りの競爭をするものがある。ソレぢやから家庭で樂しむ時間がなくなつてしもふ。此の時間を守らぬことが、ドレ丈け家庭を無趣味にし、日本人の日常生活を殺風景にして居るか知れぬ。西洋人は午前八時に宅を出て、午後四時には必らず、歸宅する、而して家へ歸ると、モウ事務のことは決して話さない、ソレぢやから西洋人は家庭を味ふことが出來るのである。

妻君の有無が分らぬ家庭

日本ではドノ家庭へ行て見ても、其の家に妻君が有るの乎、無いのか分らぬことが多い。主人は大抵妻君を客に紹介しない、縱ひ紹介することがあつても、妻君は少しも話をせぬ。いや客に話をせぬばかしではない。夫婦の間にすら談話が少ない、日本人は夫婦兄弟姉妹の間に、談話の少ないこと世界一の國民である。早く西洋人の樣に、夫婦の間、兄弟姉妹の間に談話のある樣にならねばならぬ。

家族制度

日本人は家族制度の國であると云ふて自慢して居る、成程制度の上から見れば、西洋人は其の小供が十五六になつて、外へ出て少しでも月給をとる樣になれば、直ぐ下宿料を拂して居るから、如何にも薄情に見へる親子の間にさへ極端な個人主義が行はれ、家族制度が全くない樣に見える。併し實際は丸で反對で、家族制度を誇れる日本の家庭には何等の趣味だになきに反し西洋の家庭は實に有趣味で、精神的には彼等の親子、兄弟姉妹の間は、實に親しいものである。

日本人は親子の間、世話にならう、世話をしようと思ひ過ぎ、考へ過ぎて甘く行かない。西洋人は親子でも世話にならうとも、世話しようとも思はぬが、ソンで居て反て其の間が平和である。之れ皆なが自分を磨く結果である。個人主義と私慾主義とを一緒にしてはなりませぬ。

眞の個人主義の人が增えて、眞實な生活をする人が增えると、家庭も社會も健全になると考へる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

天才の女

マリイ・バシカアトセフの日記（二）

高安月郊

　其夏ドイツへ行つてベルリン博物館の彫刻に感じ、歴史に感じ、畫に感じ、讀書の趣味も出で、殊にフアウストを熟讀し、

「惡魔はどこに？　マルカレテは？　あゝ惡魔いつも私と一所にゐる。私の狂的の虚榮心は惡魔である。ああ無効の野心！　不可思議の目的に對しても無用の向上！」

　私は幸福な身の上に深い意義を持つ。私の要求するのは戰の其眞中の生活か全き休息である。」

　しかし休息は死んでも出來相も無かつた。彼は忽ち博物館で感じたものに厭になつて、ドイツ人まで物質的とし、ベルリンも恐ろしい所と云つてロシアへ歸つたが、ピイタス、ブルクは泥の穴だと罵つてゐる。そして國民の生活は緩く流れる流に似ていつも定まつた同じ目的を追ふとし、それは誰に定められるか。

「神に依つて？　または自然に依つて？神が自然なら我々は唯馬鹿だ、何故なら自然は人や人の利益に丸でかまはぬから。」

　懷疑はそろ〳〵其心に起つて來た、或日人々プシキンを音讀して戀に付いて話してゐると、其父は彼に向つて、

　「お前は決して戀をしまい。」

　「さうなら天に感謝しますよ。」

　さう答へながら日記には「しかしまだ夢で戀をするさうだ」しかしそれも空想の人を。

　いつ私は戀をするのだらう私は私の心の溢れる情を各方面へ、熱心になる事に、泣く事に――そしてつまらぬ事に與へて暫氣をまぎらせてゐる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

其監督コリグノン夫人に與へた書にも、

「あなたを盲目的に愛する女を何となさいます。其人は了解されるでせうか。さう、平凡の人にも、しかし此女があなたの前に直立してそしてあなたの足下に身を投出したなら、あなたは其偉大、其愛の偉大を了解なさる、そしてそれはさう自卑しくしたから偉大なのでなく、あなたを高尚にするからです。こんな崇拜の前で神と感じない男があるでせうか、從つてこんな女を了解して自身それと同等としない男があるでせうか。

彼にも此心があるのである、彼丈に大にあるのである自尊が大い丈に大く、相手も大くして、また其崇拜に於て同等とする自信、そこに永久と新しい女の情が混じて見える、しかも其對象を見出さぬのである。されば娘としての成功に醉うて、私を愛しない者は土百姓だ、私を野卑に愛する者は惡者だ」とはをかしくもあはれでもある。

其年の末またパリへ行つた、今度は甚しく無聊に苦んで「パリは私を殺しつゝある。カフエーだ、ホテルだバザアだ」と罵つてゐる。イタリイといふ一語は身を顫はせたが容易に行けず、畫は漸く其心を占めて來た。

「いかな場合でも、其始でも、其最高の發展でゞも――藝術程損なものは世にない。

何を我々が産出するかと考へると總て忘られる。我我は此等の輪廓や影を尊敬と優しみを以つて見る、我我は創作する、そして殆偉大と自感じる。」

藝術の本能に接して人生の不安は露土戰爭から連想して、

「そんな事があるものか!! あゝ恐ろしい、絕望する戰慄するこわい言葉!!! 死ぬ! 神よ、死ぬ!!! 死ぬ!!! 私の跡に何も殘さす? 犬の樣に死ぬ! 名のみ空しや墓石に誌された幾許の女の樣に死ぬ………馬鹿、神意を見ぬとは私は馬鹿だ、神意は私に一切を棄權して全く藝術に獻身せよといふ事だ。五年の内に私は全く若く――恐らく我流に美しくなるだらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

しかし若も多くの樣に唯藝術上小才になつたら！」
自尊が大い丈危みもある。彼はマリアに、キリストに祈つて助を乞ひ、其爲に倘ローマへ行き度なつた。
「私はローマから離れて活きてゐられぬ。本當は私は死にかゝつてゐる――また外の望も無い、まだローマにゐられなかつたら命の二年やつても好い。
畫は私を狂氣にする。私には驚くべき製作の資質がある、それに研究に付いては少しばかり技術の徵候があつて學校へやられる町の小娘より遙惡い、けれど私は望む、後世が私が創作しえた筈のものを失うた怒に私の家族一同の首を刎ねるだらう。
まだ社會へ出たがつてゐると思つて！ いゝえ、もう厭になつた、私は不平家が共和黨になる樣に藝術家になる所だ。
「私は自身虐殺してゐる。」
此熱烈既に其儘藝術である。其頃女流作家ウキダのアリアドネを讀んで其女主人公を羨んでゐる。それは彫刻を學ぶ女で詩人に失戀して死ぬ話で、

「先彼はローマを崇拜した、それから其全心で愛した捨てられても彼に依つてゞある、苦んでも彼の爲である。愛する者から何が來るとも彼の樣に愛したら、私がいつか愛するならやる樣に愛したら……それで困らされる事があるとは見ない……」
しかし其理想の人物は下賤で無く、金に欠缺せず、總てに成功して全世界に於て何も恐れぬ者とは、しかも唯戀に於て臆病な者とは、小說か處女心か、現實に既に見た者は決して愛せずとまた藝術に向つて、
「藝術！ 此魔語が遠くに無かつたら私は死ぬだらう。
藝術に付いては誰も入らぬ、我々は唯自賴む。若失敗したらそれは自其甲斐が無かつたので、また活きまい、藝術！ 私はそれを向に遠く大きな光として其光を見つめて行かう。」
彼は戀を藝術に轉じた神である。時に十八、しかもせいて、あせつて、失うた時を二年で取戾すといひ、また自罵り、自嫉ひ、自憐いたとし、馬鹿とし

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

臆病とし、私は自憎む！」と書いてはまだ眞實何を要求するか、巨萬の金持になるか、聲を取戻すか、ナポレオン四世に嫁するか、最高の社會に出るか、卽時に聲を取戻したいと惑ふてゐる。其内にジユリアンの門に入つたが、忽進歩して師を驚かした。彼は念一心になつて、

「畫室では總ての差別はなくなる、お前は名も家族も無い、お前はまたお前の母の娘で無い、お前はお前自身だ、お前はお前の前に藝術――藝術其外に何も無い一個人だ、何といふ幸ひ、何といふ自由、何といふ自尊！。

とう／＼私はあんなに長くならうと思つてゐた者になつた！」

彼の勉强は非常で毎日九、十、十二時間、えられる丈要した、もつと早く始められればといつも思つた。藝術の町の魔力を解して、

「私は私のまはりに女の何もない、唯上包丈だ、そして其上包はひどく女性的だ。

いや中まで女性的の所は無いか、次の年正月の感じは、

「古い自己がさう深く眠らうとは不思議だ！辛うじて或物が殘る、時々過ぎた痛をさます思出、しかし直考へる……何を？藝術？それは私を笑はせる。

これが最後の舞臺か。

私は少しづゝ自完全にする。」

しかし古い自己はまた醒めて藝術上有名にならうと思ひ、なると信じ、しかもまた死に襲はれて、

「死ぬ？つまらない、けれど死に相だ、活きてゐられぬ。私は普通の型に依つて造られてゐない、同じ物も餘り多く持つて、澤山欠けてゐる。そして續かない性質を、若も私が女神で宇宙總て私に勸めやうとも私は惡く勸められたと見出さう。私より多く氣儘で、氣むづかしく、ぢれる事は出來まい。或時、恐らくいつも、私はある理性と落付の下流を持つ、しかし其意味を確と說明されぬ。唯いふ、私の一生は續くまい。私の企望小さい虛榮、皆死に落つ！……私は總てに厭か

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れた。

あゝこれは杞憂で無かつたのである。

「二十二で私は有名になるか死ぬだらう。」

彼は更にぢれて同時に悲しみ、幸で、また感動し、怒り、怒つて絶望する、しかも亦或時は總てを投げてイタリイへ行つて日光と音樂と愛に活き樣と思ふ、又或時は不斷の失幻に、無頓着になり、總てを灰色と見一切無とする。

「私の書く二字の間に私は幾萬の事を思ふ。私は私の思を[illegible]斷片で表はす。後世に對して何たる不幸！」

斷片になるのは思ばかりで無い、しかし其斷片に平凡な全體より多くの生氣はある。（つゞく）

海外婦人消息

中尾清太郎

二月三日ロンドンのキヤクストン・ホールで二十人ばかりの有名な作家が打ち寄つて、ちよいと思附きのいゝレセプションを開いた。其時作家が銘々の作から引き抽いた『十分朗讀』と云ふのをやつた。それが面白かつた。女名前では、スチール夫人、セント・クレーア・ストオパート夫人、ブラッドン嬢、エリザベス・ロビンス嬢、エス・マックノオトン嬢、及びサイスリー・ハミルトン嬢などが見えた。午後はマダム、リヂア・ヤゴルスカが本讀みを演つた。それから後で『十分朗讀』に用ひた原稿は、各作家の自筆だから、特に評判の俳優に賣聲を掛けさして、糶に出した。—— 日本でこんな事が出來るだらうか？

前項のハミルトン嬢は、ラスキンの言を援いて、面白い說を立てゝゐる。「人間が色彩を愛するのは、まことに貴い魂の遺傳だ。私は男が美しい襪を穿いて、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

それを無殘無殘と靴の下に隱してしまふのを遺憾に思ふ。これは何とか工夫のありさうなものだ。それから私は男が、みんな帽子を罷めて、綠だの、唐紅だの、色した髮を見せた儘で歩いて呉れるのを望む。さうすりや其色が天に映えて、何んなに世界が美しからうと想像してみる。」――これは婦人の獨立問題や、解放論や、そんなものを通り越した上の、見上げた議論だ。

英國女權論者の旗頭フオーセット夫人の名は、濠を意味する Fosse 又は瀧を意味する Force から出てゐるんださうな。またパンクハースト夫人のは Pancoast 又は Pentecost から來てるんださうな。ペンテコストたあ、使徒として上上の名だ。それからリリアン・レントン孃の名は、文字通りに Lent 卽ち四十日四十夜の大齋を意味する。それで以て彼女の絕食同盟が一層深く合點される。またケンネイはノルマン語の Quennai から來てるんださうな。――これが西洋の姓名判斷だ。じやうだんぢやなしに、ほんとうにこんな事が西洋ではやつてるんですよ。

今幻燈を携へてアメリカを説き廻つてゐるモンテツリー女史の『こどもの家』の敎育法は、何處でも非常な勢で歡迎されてるやうだが、其講習の全課程は僅に四ケ月でいいんださうな。其間に理論に就て三十回の講演があり、練習が三十時間あり、『こどもの家』の見分が三十時間あるのだと云ふ。

今日女權擴張運動で聞えてるフオーセット夫人が小説を書いてゐるとは、恐らく弘く知られてゐまい。小さいものだけれども、"Janet Doncaster" と云ふので遺傳的飮酒癖を扱つたものである。其後の著述を筆ついでに擧げてみると、

"Political Economy for Biginners." 1870.
"Tales in Political Economy." 1875.
"Some Eminent Women of the Time." 1889.
"Life of Queen Victoria." 1895.

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

"Five Famous French Women." 1906.
"Woman's Suffrage." 1912.

支那新共和國の顧問モリソン博士の義妹にあたるメリー・ガウント夫人は一年程前から支那にとどまつてゐるんだが、今度"Little Journeyings in China"と云ふ本を著はした。

サルドウの演戯の女主人公として長い間評判であつたマダム、サンス・ゼーヌと云ふのは、元氣な洗濯婆さんで、夫はナポレオンの部下の將軍の一人であつた。それから思ひ附いてフランスの有名の小説家エム・エドモンド・レペンチーエは一つの刺戟的な小説を書いた。外題はやはり『マダム、サンス・ゼーヌ』で、例の『ロータス・ライブラリイ』に入れられる筈だ。

トルストイの劇の完集がモード夫婦の譯で、コンステーブル社から出る。『闇の力』も、『ファースト・チスチラー』も、『フルート・オヴ・カルチユーア』も、『生ける屍』も、『コース・オヴ・イット・オール』も、『闇に輝く力』も、其中に入つてゐる。

一五六六年八月 十一日附の

スコットランドの女王メリーの手紙が、此程ロンドンで三百磅に賣れた。

リード公爵夫人は、ロンドンのサゴイ劇場で演つてゐる『眞夏の夜の夢』に就て最も優れた論文を書いた十二歳以上十六歳までの子供に三磅の懸賞、十二歳以下の子供に二磅の懸賞を提供した。

トマス・ハーデイがフロレンス・イー・ダグデール嬢と結婚した評判は、夫人が女作者であると云ふことが知れてから一層高まつた、彼女の最も得意とする所は子供相手の讀物で、『ルーシーの畑で』と題する園藝上の著作、及び『ベビー・ピーストの本』『ベビー・ペットの本』『ベビー・バードの本』などと云ふやうな、さうした小動物に關する書が有名だ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新眞婦人短歌

小口みち子選

○ 大阪 藤井夕子

思ひ出づ京のぎをんと加茂川の夕べ夕べの舞子の姿。

うつくしき舞子姿の目に浮ぶ京のぎをんを知りそめしより。

はなやかな京のぎをんの午後六時若き舞子に春雨のふる。

宇治に來て宇治のをとめをなつかしみ、菜つむ畑にそと物おもふ。

名も知らぬ若きをとめにみちびかれ、菜畑に行き語りても見し。

いたづらに春の夕日は菜畑に二人語るをてらしてありき。

又いづれ巡りあふべき日もあらう、なくなげくな宇治のをとめよ。

白き花咲く頃えらみ旅に行く、此若き子を誰れとおもふや。

大和路は赤土山の多き國、その山にれて君をおもはむ。

笛を吹き笛をふきつゝけふも又白き花さく大和路を行く。

大和路はさすがに淋し夕ざればいづくともなく鐘なり出づる。

鐘おぼろ／＼に暮れて行く。大和路の春うら淋しけれ。

月匂ふ若草山にまろびれて、こぞのひとりの旅を悲しむ。

おとなしき鹿のねがほにちら／＼とさくらこぼるゝ公園の午後。

あてもなくたゞとぼ／＼と歩み見し奈良よ大和よはた宇治京よ。

○ 東京 白百合

君のためすべてを捨てゝ鹽原へ行きしは後の思ひ出のため。

むつまじきあのあめ賣りの夫婦連れ、しわがれし聲も羨やましけれ、

此頃の空にひとしき我心、君の情けによみがへりなむ。

逢ふ時はたゞ嬉しさの先立ちて、後の憂は思はざりけり。

願くば相たづさへて外國へ、空の青きを仰ぎてなかむ。

○ 靜岡 長田雪枝

我心二つに別れ爭へる、物狂はしき春の宵かな。

朝な／＼櫛にからみて脱ける毛の。あまたなるかな涙ながるゝ。

春の夕べ路傍の人もなつかしく、物いひて見む等とおもへる。

うすぎぬの手ざはりの如やはらかき夜の狹霧の快きかな。

○ 東京 正親町ゆみ

あか／＼と夕日の落つる彼の山の麓の村にやめる君はも。

杳としてかの山なみにおつる日のあたりか戀し母ますみやこ。

選の後

藤井夕子の旅の歌、いゝのが大分ありました、巡りあふべき日もあらふ等と俗語を大膽に使つて而も歌全體の品位を傷つけないの等は大そう氣に入りました、其他に「鐘おぼろ／＼に暮れて行く」おとなしき鹿のねがほ」の歌も、旅の終りの「あてもなくたゞとぼ／＼と歩み見し」何れも面白く拜見しました。

長田雪枝さんのは四つとも非常に結構でした、殊に櫛にからみて脱ける毛を詩材に取つた所は、元より珍らしくはありませんが、女の日常は朝夕にかうした、些細な出來事の中に、帝王も及ばない誇りもあれば、泣いても／＼泣き盡せない涙も其中に有るのです、徒らに戀のために、紫色の怨みや、江の涙をつゞらなくつても、我々女性の日常には三十一文字に綴るにはうつてつけの材料が、歌つても／＼歌ひつくせない程、澤山にあるのです雪枝さんの歌が明らかに之れを證して居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

遺傳に注意せよ

醫學博士　石川省吾

兩親の中で、何方かに白痴、癲癇、其の他の精神病、梅毒、重犯罪者があれば子孫に遺傳する、だから嚴重に云へば健康診斷するのみでない、法律で結婚を禁ぜねばならぬ場合もある。現に夫れを實行して居る處もある。併し婦人が四十四歳以上になれば構はない、それは子孫を殖す意味でなく、單に夫婦生活をすると云ふに過ぎないからである。

病氣の中で遺傳の最も甚しいものは、癲癇早發性癡呆、ヒステリー、躁鬱病、白痴などであるが、其他の精神病も遺傳する、酒の中毒の爲めに、本人の胚種を害され變化を受けて居る時は、不具なるものが出來る、本物の精神病者と迄行かずとも、異常氣質者からも同じ異常氣質のものか、精神病者が出來る。

茲に一人の精神病者があるが、親は酒のみで叔母には精神病者がある。其者は長子で弟妹が五人もあるから、責任が重大なるにも拘はらず、普通の話は分るが、責任ある話は分らないこれは早發性癡呆と云つて然かも親と伯母とに遺傳性があるから、重複傍系と重複直系との先天的のもので、實に危險性を帶びて居る。

又茲に父は酒のみで母は肺結核で、やはり其長子で十三人も弟妹のあるものがある、此者は十五六歳の時より飲酒し、妓樓に上りなどして五六千圓も委託金を消費し、父母を殺害すると云つては打擲する。かゝる變質徴候者には幼少な時から、齒並が惡いとか、耳の大小左右不同であるとか、又顔面左右不同であるとかで、體質上にも常人と異なる發育不善とか又は發育不完全とかであるものである、父母の片方に遺傳性があつて、子に遺傳するのは直系單純遺傳であつて、先天的でない、何か急の心配や事業の失敗上から精神病になつた後天性のものは子孫に何等の危險もない。父母兩親ともに遺傳性あるのは重複直系で、父母の兄弟にあるのが重復傍系で、父母にもあり自己の兄弟にも精神病者のあるのは尤も危險である。

遺傳に注意する樣にならぬと人種改良は出來ぬ、遺傳と云ふ觀念を後まはしにして、金や名望を第一條件にして結婚するのは醫學上から云ふと全くをかしい。たとへ教育があつても性質の惡い人は仕方がない、遺傳の危險性を思ふとよく〳〵注意しなければならぬ、今日ソレを重ぜぬのは其の思想知識がないからである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カンタンカ

チエホフ作

第八

失敗の曲藝

或る晩、主人はその壁紙の汚れた室に入つて來た。手を擦りながら。

『さあ……』

と、云つたがまだ何か云ひたさうにして、また言はないで出て行つた。小母さんは稽古をしてゐる中にだんだん主人の顔付や、聲色をもうよく呑込んで了つたので、今主人が落着かないで心配してゐるやうな、又何か怒つてでもゐるやうな樣子を察した。少時經つて主人は又其處へ入つて來た、さうして恁う云つた。

『今夜なあ、俺は小母さんと、フエオドル・テモフユーヰチを一所に伴れて行くよ、あの『埃及のピラミツト』を遣るので、いゝか小母さん、お前は今夜はあの死んだイワン・イワノヰチに代つて遣るんだ、奈何だ、しつかり遣れるか、少つとも復習をしなかつたんだし、稽古もしないんだからなあ。屹度味噌を附けるのだらう赤恥を掻くのだらう！』

主人は又々出て行つたが、直ぐに今度は毛皮の外套に、シルクハツトを被つて入つて來た。彼は猫の所に行つて、其前足を捉つて持上げ、さうして其外套の下の胸の所に入れた。猫は那樣ことは何とも思はない風で、眼を開くのさへ面倒だと云ふやうな樣子であつた。見る所彼の爲には、全く總てが奈何でもよいやうであつた。寢てゐようが、足を取つて持上げられようが、小蒲團の上に横はらうが、或は主人の胸に毛皮の外套の下に隱れてゐ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ようが……

『小母さん行くんだよ』と、主人は云つた。小母さんは何んにも解らないが、尾を振りながら、主人の後について行く、間もなく彼は橇に主人の丁度足の方に坐つた、主人は身を寒さに窄めて、不安心らしく恁う呟いてゐるのを聞いた。

『味噌を付けるのだらう、赤恥を搔くんだらう！』

旋て橇は、變な、まるでスープの鍋を倒にしたやうな、大きい家の側で止つた。此の家の長い入口の所には、三枚の硝子戸が立つてゐて、一ダースの明るい燈がぱつと輝いてゐる。戸は鈴の音がして開いて、さうして入口を過ぎ行く人達を一人、一人に呑んでゐたのであつた。人が澤山ゐて馬も度々入口に駈けては來たが、犬ばかりは一匹も見えなかつた。

主人は小母さんを手に取上げて、矢張フェオドル・テモフェーキチの入つてゐる毛皮の外套のなかの胸に入れた。其處は暗くて、息苦しかつたが暖かだつた、と思ふ瞬間に、小母さんの眼に、ぼつと青いぼんやりした光が二つ見えた、それは言ふまでもなく、猫が急に冷たい、ごそ／＼した他の足が觸つたので、驚いて眼を開けたのであつた、小母さんは猫の耳を舐めた、さうして其處にもつとちやんと坐込まうと思つて、自分の冷たい足で猫を下にして、落着かないでもぢ／＼したが、ひよつと滑つて、行成外套の下から頭を出した。と、其時ちらりと彼は薄暗い、大きい室の中一ぱい、何とも云はれぬ變な。不思議な怪物で充たされてゐるのを見た。彼は怒つてう＼＼と唸つたが、直ぐに叉首を引込めて了つた。彼は室の兩方の續いてゐる仕切と、格子の蔭から、恐しい怪物の顔がぬつと出てゐるのを見たのであつた。馬の顔だの、角の生えたのだの、耳の長いのだの、叉もう一つ顔は變な、肥つた、恐しく大きい顔の、後尾が鼻になつた、口からは長い二本の、ようく哂餂からした、骨のやう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なものが突出してゐる怪物なんぞか。で彼は驚いて、怒つてうヽヽと唸るより、直ぐに又頭を外套の中に引込めて了つたのだつた。猫は小母さんの足の下になつたので、嗄れ聲を出して啼いた。が、丁度其時、外套の前は開いて、主人は恁う云つた。

『さあ！』

フェオドル・テモフェーキチと小母さんとは同時に床に飛下りた。其處は鼠色の板壁の小さい室であつた。室の中には、其程大きくない鏡臺と、腰掛と、隅々が布で掛廻はされてゐる外には、何にも道具がなかつた。さうしてランプや、蠟燭などの代りに壁に打込まれた管に取附けた扇形の燈火が明く輝いてゐた。猫は小母さんにくしやくしにされた毛を舐めてから、腰掛の下へ行つて横になる。主人はまだ落着かないで、手を揉んだりしてゐたが、やうやく着物を脱ぎ初めた、まるで平常家にゐて蒲團の中に入つて寢る支度をする時に着換へると同じやうに南京更紗のシャツ一枚の外は、すつかり脱いで了つて、腰掛に掛けた。さうして鏡を見ながら驚いて了ふ姿を拵へ初めた。まづ彼は最初に頭に鬘を被つて、兩方の毛の分目から、角のやうに二本の毛を立てヽ、それから顏を白粉で濃く塗つた、で、その上にまた眉毛だの、髭だのを畫き、又紅も塗つた。だがまだそんなに顏や頸を汚しても、それでも彼の仕事は終らない。今度は更に變な、附かない着物を着出した。那樣着物は、これまで小母さんは、未だ家でも、町でも見たことはなかつた。猶其上に彼はたヾ廣い、更紗に大きい花を縫つた裁着、丁度中以下の家で幕や、椅子其他の道具の蔽ひにするやうな布で縫つた裁着で、それが脇の下で釦鈕で止められてゐる。片方の裁着は茶色の更紗、片方のは薄い黃色で。もうそれだけでも主人は隨分大ごとであらうに、猶まだ其上にも更紗の上衣を着て、齒形になつたカラーをし、背には金の星を着けて、だんだら染の靴下に靑い靴を穿いたのだつた……

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小母さんは、主人の這麼變な樣子が妙に心にも眼にもちらついてならなかつた。白い顔や、だゝ廣い其姿なんぞが。と云つて、臭はたしかに主人の臭だし、聲も主人の聲であつた。が、然し、何だか疑ひ初めると、彼はもう堪らなく變で、氣味が惡く、その變な形の傍から、逃げ仕度をして吠え出さんばかりであつた。新しい場所や扇形の燈火や、臭や、主人の變裝や、これらは皆小母さんに何とも云へない恐怖と、又、何か屹度あの先に見た肥つた顔の、鼻に尾の生えてゐる怪物にでも出會しはしないだらうか、なんぞと云ふ感じを惹起させてゐた。さうして何處か彼方の壁を隔てた遠い方で、惡むべき音樂を奏してゐる、又時々譯の解らない叫が聞えた。だが、唯一つ幾分か心を落着かせたのは、フェオドル・テモフェーキチの平氣になつてゐる樣子であつた、猫は落着いて腰掛の下に坐睡をして、眼さへ開かない、それどころではなく、腰掛が動いても、矢張眼を開けもしないでゐた。

何所かの人が燕尾服に白のチョッキで、室を覗きながら云つた。

『今、アラベラ孃が出演してゐますから、その後が貴方の番です。』

主人はそれには何とも答へないで、机の下から手頃な鞄を引き出して、それに腰を掛けて待つた。主人の唇の動きや、手付で、彼が如何にどぎまぎしてゐるかゞ見えた、のみならず、主人の顫へてる息遣ひさへも、小母さんにはよく聞えた。(未完)

瀬沼夏葉譯

編輯者申す、カシタンカは本號で完結にするツモリで、瀬沼さんに二回分一緒に譯して貰ふたのでしたが、紙面の都合で一回分丈次號へ廻はしました。次號で愈々完結します。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

家探しの記

野の花

お隣の奥様と、私は現在の住家は光線のたらないのと、附近が氣に入らないので、墓地に名高い、青山方面に貸家を探しに出かけた。この日は今までにない温い長閑な日和であつた。電車の中にもなんとなく人の春らしい氣分が漂うてゐた。青山終點で下車した二人は彼方こちらと眼をキヨロキヨロさせて貸家の横にはつた札ばかりを餘念なく探しあるいてる内に一度通つた横町に再びもどつたり、阪を昇つたり降りたり、これはよい家だと思ふて聞いて見るとなか〳〵の豫算超過に眼を丸くして、二人はかほを見合せ、拍子ぬけして「アーさうですかどうも失禮致しました」と申殘して氣まり惡く急ぎ足で去つて仕舞ふ。斯した事五六度であつた奧様が「どうせおそくなつたり、くたびれたりは覺悟で來たのですからもつと探しませう」と仰せられたので、棒のようになつた足を引摺りながら再び勇氣を出して努力したが、なか〳〵勝手な要求だから氣に入つた家がない二人は沈默のままあるいてゐると、ふと○○様の住家に近い番地に進んできた、私の血潮は湧き返る、心臟の鼓動は高まる、私のこの様子を見て取つた奧様は「私一人で見てきますから……」あとに殘つてゐた私の袂はぬれて仕舞つた、やがてもどられた奧様は「れーあなた○○様のお宅はすぐそこヨ」この言葉を聞いた私はかほに袂を押しあてたまゝこれにお答へする事か出來なかつた……それから墓地を通りぬけるべく行くと「此處からお宅が見えるからせめてもにお宅でも御覽なさい」あれあすこと指さされた時は、もー堪へられない苦痛……聲を限り泣いた、こゝでいくら泣いたとて、叫んだとて、病床に聞えるわけでない、今頃はどんなに病中に惱んでゐらつしやるのでせう……おそばに行く事ができず、その經過さへ知る事ができない、悲しい境遇、私はこの墓地で血も涙も涸れるまで泣き明したい、私はもーこゝで死んでもかまひません「どうぞ奧様かまはずにお先きに」と申しましたら、奧様も涙ながらにやさしい言葉でいろ〳〵慰めて下すつたので、やうやく我れに返つた、あるものに囚はれきつた私の熱い涙はいつ乾くのでせうか、たまには人の通るこの墓地でこんな悲劇を演じて、そばに付いて居つた奧様のさぞ迷惑であつたでせう、日は西へ西へ、電燈や、瓦斯燈が、ポツポツ光つてきた頃やうやく家路に向つた。

あゝ問へばとて、誰が答へてくるゝ人があるでせうか、知るよしなき身の悲しさ……こんな場合には神様か佛様にたよる外はないと信じた、八時を過ぐる頃にかなり遠い寺に行つて、お百度參りをした、今までよく皆さんがしてゐたのを見て、餘程の決心がなくつては、氣まりが惡いやら、はづかしいやらで、できない、なんて云ふてゐた自分が、今は實行した、この時の私の心理狀態は果してどなであつたでせう。かうした悲劇はいつの世にか花やかな思出となるでせうか。思ふ様な家が見當らない今日の努力は空しかつた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論反對說に答ふ（四）

（オリブ・シユライネル女史の『婦人と勞働』紹介の十）

高野重三

第六　兩性間の調和

新らしき理想を實現するまでには

　原始時代の社會に於て、數ふべからざる永き年月の間生活狀態に更に何等の變化がなかつた。其の社會に於ては凡ての男子は、野獸を狩り立て、又恐るべき敵に遭遇するの必要ある上からして、一夫多妻の制度は、其の人種なり、人口なりを保たしむる爲めには、確かに必要であつたのである。斯かる社會に於ては縱ひ一夫多妻の制度に少なからぬ弊害と苦痛とが伴つたとしても、何人も之れに贊成し、又之れに從はざるを得なかつたのである。又斯かる社會に於ては、食物に不足を告げた場合には、小供や老人を殺したこともあるが別に之れに對し、何等道德上の疑惑をも起さなかつたのである。例へば日蝕の時に、或新らしき蟲が偶然出たのを見て、其の蟲と日蝕との間に何にか深き關係あるもの丶如く思ひ、遂に之れを神として拜むまでに至り、永き年月の間、別に斯かる愚昧なる信仰を排斥するものがなかつた樣に、斯かる社會に於ては、一人の意見は直ちに萬人の意見となり、凡て其の當時の制度や習慣に對し、何人もたゞ調和することをのみ努めたのであつた。

　然るに突然或優等人種が優れたる武器や智識を以て現はれ來たり、凡ての野獸を亡ぼすと共に、戰爭の爲めに多くの男子の生命を失はさすことをも、過去の事實として消滅せしめて了つた。ソコで男子の數、漸次

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に增加して婦人の數と同數、若しくば之れよりも多くなるに至り、自然男女の分業に就て種々な議論も起り而して一夫多妻の制度に就ても、種々なる疑惑が起ることゝなつた。斯くてやゝ進歩せる者は一夫多妻の制度を甚だ有害なりと信ずる樣になり、其の中の最も大膽なるものは、其の議論を實際に行ふて一夫一婦の制度を守り尙ほ無識にして進歩的ならざる、昔ながらの古き習慣に固着して居る者との間に、少なからず意見及び行爲の衝突を釀すことゝなつた。右の優等人種が新しき進歩したる農業の仕方をも輸入した爲めに、食物は充分になり、最早や幼兒や老人を殺すの必要なくなつたにも係はらず、矢張り昔の如く己が兩親及び幼兒を殺さんとするものがあつて、新舊思想の激しき衝突を見るに至つた。前の日蝕の例を借りて云ふと、異國人が彼等の社會に彼等の知らざる望遠鏡を携へ來たり、日蝕は月が太陽の前を通過することによりて起るものなることを敎へ、其の爲め其の社會のやゝ智識あるものは、彼の蝕は日蝕の原因にあらざるを知り、之れを神として拜せざるのみならず、遂には之れを殺さんとするまでに至れるに、尙ほ其の社會の劣等なる進歩を好まざる人民の方では、望遠鏡によりて天體を眺むることを拒み、又之れを拒まざるまでも、月の通過が日蝕の原因であることを承認せず、永き年月の間、習慣となれる蝕を崇拜することを止むるを欲せずして反て之れを神として崇拜せざるものを不敬者と罵り、甚だしきは之れを殺さんとするに至るのと同樣である。斯く新らしき社會上、夫婦上、又は宗敎上の理想や制度が其並行を得るまでには、少なからぬ不調和と苦鬪の連續を經てからでなくてはならぬのである。

苦痛の原因

右に述べたるものと相似たる狀態が、ソレに比し更に非常に複雜したる狀態で、現今の社會に現出して居る、今日の社會と數百年前の社會とを比較するに、其の間物質上には何等の類似點を發見する能はざるまでに、變化し來て居る。山間僻地に行けば昔の社會上

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の事情が其の儘遺つて居る所が、多少ないではないが大體に於て手工に代つて機械が出來るし、安價なる印刷機械によつて智識は廣く傳播されるし、數十萬若しくば數百萬の人民が都會に集中するし、交通及び運搬の機關は益々速かになるしなどして、社會は愈々複雜となり、且つ其の變化も速かになつて、從て社會の全般に於ける社會上の調和を計ることを困難ならしめ社會上の不安及び其の理想、信仰及び制度に關する爭ひをして餘儀なくせしむるに至つた。

昔日、使用せし銃砲又は農業上の器具は今日は最早や何等の用をも爲さない。私共の母が手づから拵へられし靴下は、今は機械によりて製造される時代となつて居るのである。されば其の當時の社會上の制度、信仰及び習慣が日々に變化して、今日の人民に適せざるに至つたのは、實に止むを得ざることである。從つて進歩せる思想のものと、然からざるものとの間に、衝突の起るのは之れ又止むを得ざることである。此の衝突と苦痛の起る原因を詳細に分析せば、左の三個の原因より生じて居ることが知れる。

●第一 恰かも最も速かに成長する木が屢々其の皮を破り、ソコより內部の樹液を流す如く、單に變化の速かなる爲め舊來の習慣及び思想の傾向との衝突が激しく、從つて苦痛も大きいのである。

●第二 此の進歩或は變化に適應するの程度は、人により大に異なり、最も進歩し易きものあれば、又最も古風に固着するものもある。而して此の二種の人間の間に更に無數の程度を異にするものがある、而かも此等が或階級或は家族として分類することが出來ない。各人皆な異なつて居るから。其の混雜は非常である。丁度將棋の駒が、金、銀、角、步によりて分類されないで、たゞ滅茶苦茶に振り蒔かれてあるの狀態である。

●第三 此の不安と苦痛とは、たゞに社會の表面に起るばかりでなく、私共個人の心中にも絕えず起つて、其の煩悶を續けて居るのである私共の一生涯の中には時と場合により、幾度も其の思想なり習慣なりが變化するのである。新舊の思想が常に私共の心中で戰て居るのである。

此の苦痛若しくば煩悶を最も大きく受けてるものは私共の社會で最も進歩したる人々である。恰かも氷にて鎖されたる川へ一番最初に飛び込むものが、其の氷の爲めに最も甚大なる苦しみを受け、其の次に飛び込

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

むものは氷の碎かれあるを見るのみで、最後に飛び込むものは、其の氷さへ見ざるに至るが如きである。男女に係はらず、未だ人類の歩まざる道を最初に歩むものは、堪へ難きの寂寞を感ぜざるを得ぬ。けれども新らしき道を歩むが爲めに、一般人民より隔離せざるを得ざることは、決して其の道の惡しきを證するものではない。先覺者の受くる寂寞と苦悶は、人類の救主の冠ぶる荊の冠に外ならぬのである。

兩性間の不調和

今日の社會生活上に於ける凡ての不調和、爭鬪、苦悶中、男女兩性の關係に於ける夫れが最も激甚なる理由は、男女の關係が人類存在の脊柱であり、從ふて其の感覺も最も鋭敏であるからである。但し男女兩性間の不調和が、現今の社會上の不安の原因にあらずして、社會一般の不調和が遂に兩性間の範圍にまで其の影響を及ぼしたるものなのである。

又現今の社會の最も進歩したるものと、進歩せざるものとを隔離する線は、男女兩性を分つ線とは並行しない。ジョーヂ・サンドとヘンリック・イプセンとは、其の思想に於て同階級に屬すべきもので、兩人共に彼等自身の同性間に反て其の比を見ないのである。恰かも己が身を賣らんとして街路をブラつき居れる老いたる淫賣婦の傍に、之れを買はんとして熱心に探がし居れる老いたる異邦の男子の立ち居るを見、又專ら肉慾と奢侈とを求めて止まざる寄生的婦人の傍には、之れと關係を結ばんとし、たゞ〱肉慾の滿足と放縱とを求むる男子の立ち居るを見るが如く、己が愛する男子より、其の男子の爲めに盡すと相當する情愛と働きを求めんとしつゝある新しき女の傍には、同じ條件を以て其の女を得んと欲する新しき男子が立つて居るのである。

今日の最も進歩したる婦人が、新しき境遇に順應せんが爲めに、試みつゝある社會上の運動は、計り知るべからざる遠距離に彼女等を粗野なる男子より隔離し、又同じ運動が新らしき男子を古き婦人より隔離す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るに至らしめて居る。現今の社會に於ける夫婦間の悲劇は婦人が婦人として男子より隔離するから起るのでなく男女の間に思想の進歩の程度が違ふことから起つて居るのである。たゞに夫婦間のみならず、父と娘、母と男兒兄弟姉妹の間に於ても、現今はたゞに數年のみならず數百年の思想の相異あることをさへ見ることが珍らしくないのであつて、此の相異が卽ち悲劇の原因となつて居るのである。

　新らしき境遇に婦人自からが順應せんとの企てに對して反對する男子は、男子なるが故に殊更此の婦人の企てに反對するのではない、其の思想の古い所から反對するのである。同性の婦人にしても古き思想の者はヨリ激しき反對を試みること屢々あるのである。驚くべき事には、最も有力に婦人の新しき勞働に入らんことを主張し、最も強く婦人の廣き訓練と行爲の自由を要求し、又最も熱心に男女の間を隔離する凡ての人工的障害を破壞せんと企つるものは歐羅巴の各國共に多くは男子の著作であることゝである。されば新らしき男子と新らしき婦人は平坦なる原野に立ちて、方角の異なれる二つの道を眞直ぐに進み、進めば進む程男女相隔離するのでなくて、寧ろ同じ山を異なれる山道より登り、登れば登る程、互に相近づき、遂に頂上に於て相出會するもの丶如くである。

　婦人が男子と同じ職業へも這入つて行くと云ふことは、男女間の交誼及び情愛を疎隔せぬばかりか、反て利害の共通と云ふことなどから、男女を親密ならしむるの一の原因となるのである。之れを男子の事にすれば例へば辯護士の友人は多くは辯護士であり、商人の友人は多くは商人であり、醫者の友人は多くは醫者であり、役者の最も親しき友達は普通は役者である、學者、百姓、水夫の友達は矢張り學者、百姓、水夫である、若し水夫の友達が政治家であり、牧師の最も惡意な友人が役者であり、百姓の最も親しき友達が天文學者であると云ふことであつたならば、非常に世間の注意を惹くのである。同氣相求むるは世間の一般の習ひである。卽ち同業の間に存在する嫉妬心は、其の同業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なるが故に、起る所の交誼或は情愛を妨ぐることは出來ないのである。之れと同じ道理が男女の關係に於ても見らるゝのである。普通男優は女優と結婚し、男子の音樂家は婦人の音樂家を娶り、婦人の文藝家の應接間には同業の男子を常に見、女醫は多くは男醫に結婚する如くに、男女の間も其の營む所の職業によつて、互に相引つけらるゝことになるのである。男女が同じ勞働を相提携して爲すことにより、修養だの、思想だの、思想の傾向又は利害の念に共通なることが出來て其の爲めに現今たゞ肉交によつて僅かに維持せられて居る男女の關係、而かも其の爲めに男女非常に隔離して居る間柄が、大に接近することになるのである。昔の男女が共に狩獵に出てよき獲物を得、或は草根木皮を發見したることを互に話し合ひ、又夫婦が收穫のことだの、牧畜のことだのを共に談合せし如く、今日の男女も其の共に爲し、共に行ふことによつて同情を增し共に愉快の生活を遂げ得べしと想像するは決して無理ではないと考へる。

現今の進んだる社會に於て、私共は種々なる階級の間に、男女が同じ勞働に從事せず、又其の利害に共通の所なく、其の生活が全く異なる爲めに、男女の間の疎隔され居るを見ること珍らしからぬのである。それだから男子は常に倶樂部生活を求めて、たゞ男子の友人の間にのみ逃れ、婦人は寂寞の生活を送るか、或は放縱の身持をなす、從ふて夫婦間の不和を來すに至るのである。若し夫婦の關係が常に生き〳〵として、又常に成長する事實とならんことを希望するならば、單純なる肉の交りの外に、精神上の同情と利害の共通とが絕對的に必要である。故に舊來婦人の爲すべきこととして取つて置かれし職業ばかりでなく、男子の從來專有し來たりし職業へ婦人も這入つて行くことは、男女の間に共通なる利害と思想と生活の習慣を奬勵するに最も肝要なことである。或時、或有名なる辯護士の妻君に、

　貴女が御良人と一緒に居ることの稀れなのは、ドウ云ふわけですか。

と尋ねるものがあつた。スルト妻君は、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の夫は益々法律上の職務に沒頭して行くのですが其の法律を私は少しも理解すること出來ず、又夫れに對し興味をも持たぬのです。私の小供は皆な成長して今では學校に入學して居り、女中は私の家の一切の用事をして居る、ソレで私には家の中に用事と云ふものがないのです。夫が晩に家へ歸つた時に、其の日に私の爲したことだの、私が企て居るバザールのことだの、私がした買物のことだの、又訪問客のことだのを話して、彼を慰めんとすれば、彼は反て之れを五月蠅がる、彼は彼の書齋に入て本を讀むか、彼の友達を訪問するかばかりし、私は又家に獨り遺されてばかり居るのです。されば若しも私に婦人の友達なく、又私と共通したる考を持つ他の男子と交際するの機會がなかつたならば、私は殆んど生きてることは出來ないであらうと思ふ。私共は元々戀愛で夫婦になり、共に舞踏もすれば、共に馬上散策にも出で、何事も共にして愉快に日を送つたこともあつたが、今日は私共二人の間に何等共通したる仕事がないのです。今日も尚ほ私は私の夫を尊敬し、彼も亦た私を尊敬して呉れてますが、たゞ夫れ丈けで、其他には何等互に同情を起すものがないのであります。

と云ふ答をしたとのことであるが、斯くの如きは別に珍らしき事でも何んでもない。現今は、表面は美しく見えても內實は殆んど之れに類して居る夫婦關係が、數へ切れぬ程あるのであると、私は信じて居る。

最後の言

斯く論じ去り論じ來りし女史は、此一大雄篇を左の如き感慨深き莊重なる預言者的句調を以つて結んで居る。

文藝にまれ、科學にまれ、或は他の組織だちたる職業にまれ、苟にも婦人が普通男子の從事す可きものと定て居る職業に從はんと欲するに當り、熱心に己が手を延ばして婦人を其職業に歡迎せしは男子である、又婦人が其選びし職業に於て幸に成功し、或は善事を遂げし場合、最も惜げなく喝采し呉れしは同業の男子なりし事を、是等婦人が異口同音に立證し得るは誠に美るはしき事である。

婦人が新らしき勞働に入らんとして、其門戸を叩く時、何時も殆んど其叩かざる以前に門戸の他方に、男子の強き惠み深き手が、熱心に之れを開き呉れざる事がなかつた。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此新世紀の初めに當り、纎手を己が額にかざして將來を凝視し、遙かあなたに朦朧として寫り去り寫り來る幻影の眞相を見窮めんとする、私共婦人に取りては此世界に未だ嘗てあらざりし程の、男女の親密なる光景に接することより、美はしく且つ心地よき何物をも知り得ないのである。

* * * * *

私共は常に私共の夢の裡に妓樓の門戸が遂に閉さるる鎚の音を聞き、婦人の身と心が買はるゝ最後の貨幣の響を耳にし、又婦人の活動を人工的に包圍して、彼れを男子より疎隔する最後の障壁の倒るゝ音を聞くのです、而して私共は男女の戀愛を或時は鈍く遲く匍匐する蟲の如く、次には感覺なき土に似たる蛹の如く、又終には羽根を擴げて將來の光明に耀く蝶蟲の如くに想像するのです。

今日私共が人生の流れに逆らふて強く片舟を漕ぐに當り、私どもの眼に河流の遙けきあなたに、兩岸より立ち上る烟霧の切れ間〳〵に、淸澄なる金色の光明を望むが如き心地のするは、私共の餘り永く緊張せし、眼の迷ひであらうか。私共の片舟が彼岸に達する迄には、幾度か漕手は代はり、舵手は變ずるを私共はよく知るも、尚は更に楫をヨリ輕く握り、背をヨリ低く曲げて、此光明を望んでは片舟を進むるは一種の迷であらうか、是等は總て一場の夢に過ぎないのであらうか。

昔のカルデヤの識者がエデンの花園の幻影を見しは遠き古代の事であつた、最初の男女は共に喜に滿ち、親しく交はり居りしが、一日女子が智慧の樹の實を自ら喰らひ、次に之れを男子に與へて喰らはしめし爲め花園より追放せられて、アナタ、コナタに流浪し、苦痛の裡に勞働せざるを得ざる事となつたのだと彼は夢見たのである。

私共も亦た花園を夢む、然れども此花園は遙けき將來に横はつて居る。私共の夢は女子が智慧の樹の實を喰らうも妨なく、又男女が幾千代の間、數多の勞働を互に相扶け、倶に相提携してなし、而して共にカルデ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ヤ人が夢見たるよりも更に高尚なる花園を彼等の周圍に起し、彼等自身の働によりて之れを創造し、彼等自身の親交によりて之れを美はしくならしむと夢見て居るのである。

聖書の默示錄には新らしき天と新らしき地を見しと記されてある。私共も亦た新らしき地を見るのであるが其處には男女が親友として又は共同勞働者として互に相愛して居るのである。

私共は私共婦人の現在に於ける勞働的服從の境遇の如何にも耐へ難きを感じ、さりとて再び過去の單純なる狀態に還るの不可能なるを思ひ、而かも私共の將來の可能が如何に廣く且つ美はしきかを信ずるが故に、私共は各處に於て「勞働と予等をそれに適應せしむるに必要なる訓練」との、奇なる新らしき叫を擧げて居るのである。（完）

大正博覽會　賣店池の端櫻見橋の際　電話下谷六五八二番　三銀

六月分豫約賣

申込は只今

（三銀好組合品）

特價　金五圓　箱入

（五品見立）

○豫約内金貳圓申受升
○送品は六月下旬
○送品の節殘金申受升
△御別莊用のお道具には格別御便利で御座います

素人料理半席會

夏季意匠　お客用道具

キレイナセト物店
東京銀座通
新橋　三銀
電新一六三〇

一人附皿　五人
向附丼　五人
吸物茶碗　五人
御膳茶碗　五人
小皿　五人

▲計二十五個壹揃
組合せは三銀の意匠におまかせ願升

會費　毎月　金壹圓

三銀好の珍陶器を毎月配達致升一年に（参圖）の景品が有升から實益と興味を兼た趣向配送品より進物用に仕上て有升

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

佛蘭西文學の精髓

モウパッサン原著・文學士 小野秀雄譯 杉浦非水裝幀 ・完全譯・

（新刊）

ベラミー

佛國文壇の奇才モウパッサンが作品數多きがなかに其代表的傑作として知らるるは此のベラミイ一篇にしてかの「ユンヌヴイ」と共に佛國自然主義文學の最大産物と稱せらる。その精細透徹せる觀察と辛辣精緻なる筆鋒と爛熟せる技巧とは何人も遠く及び難しとする所、無能無恥なる男子と放蕩淫逸なる婦人を以て組織せらるる現代上流社會の裏面は忌憚なく紙上に曝露せられ宛として活圖畫を見るの感あり。苟くも本書を讀まざるものは以てモウパッサンを語る能はざるなり。小野文學士其椽大の筆を揮て之を邦語に譯出す、一句一語として原作の情趣を傳へざるなし。速に購讀の榮を賜へ。

四六版總クロース頗美裝
紙數約六百頁函入全一冊
定價金壹圓四拾錢
送料金貳拾錢

ガリンミヒヤエリス著 佐藤綠葉譯

エルジエ・リントネル

四六判頗美本函入
定價金八拾錢送料八錢

カリンミヒヤエリス著 小野秀雄譯

離婚せる四十女の思ひ切た告白

四六判頗美本函入
定價金八拾錢送料八錢

某小學敎師編

涙のあと

若き女敎師の手紙

四六判頗美本函入
定價金七拾錢送料八錢

發兌 東京神田松下町一〇 振替東京一四八一四番 電話本局五三九七番 以文館

驚くべき洗濯石鹸界の大恐慌普通棒石鹸の半額

太陽印洗濯 コナ石鹸

本品の特色

◎普通「シャボン」の半額なり ◎悪臭なく使用便なり ◎洗濯用として實用的なり ◎普通「シャボン」の如く洗濯物に班點を殘すことなし ◎品質を損せず手荒ず ◎白衣油衣に特効あり ◎消毒を兼備し衛生に適す ◎食器を洗ふに便なり ◎如何程汚れ居る衣類も過度の分量を要せす ◎一度使用せし水も泡の立つ内は効力あり

定價

ボール箱入 大箱 金拾錢 小箱 金五錢

家庭徳用品 壹〆匁入 金九拾五錢 市内送料無料 地方送料廿八錢

五百匁入 金五拾錢 市内送料無料 地方送料十六錢

◎販賣處ハ全國到ル所小間物化粧品雜貨賣藥店ニアリ

◎販賣希望ノ方ハ申込アリタシ

◎注意近頃類似ノ粗惡品アリ太陽印コナ石鹸ノ商標ニ注意アリタシ

赤坂區青山北町二丁目六番地

太陽印コナ石鹸 發賣元 合資會社 柳屋商會

電話芝二八四八番 振替東京五二七四番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花柳病豫防液
ゼニール

特賣專

○旅行家は必ず本劑の携帶を忘れ給ふな

「ゼニール」は花柳病の感染を豫防する未曾有の特効を有し之を装置する安全注入器は携帶至便小形堅牢なる特許品にして秘密使用に好適す。花柳病の滔々恐るべき害毒を知る諸士の忘る可らざるは是のゼニールなり。本店は勿論何處の取次店も大に歡迎す決して恥ず可きに非らず僅かの錢を惜みて恐るべき病に罹るべからず。說明書ははがきにて申込あれば進呈。

○御婦人は藥液ばかりでも間に合ひます

定價

特製（器械 藥液）	一組	二圓
甲種（器械 藥液）	一組	壹圓五十錢
乙種（器械 藥液）	一組	七拾五錢
藥液ゼニールのみ	一瓶	廿五錢
送料	各	八錢

＝一ツ　＝三ツ

發賣元
精錡水本舖
東京銀座貳丁目
岸田吟香
振替東京四七八七番
電　京六一五番

東京市麴町區內幸町一丁目三番地
電話新橋長二一〇〇、二一〇一番
振替貯金口座　東京一八、九〇〇番

太平生命保險株式會社

社長　中村靜嘉
專務取締役　楠秀太郎
取締役　村井貞之助
取締役　內野五郎三
取締役　前川善平
取締役　倉知誠夫

取締役　左右田棟一
取締役　舟木錬太郎

監査役　潮田方藏
監査役　左右田信二郎
監査役　中田敬義

火神の死

鳥林あぐり

雲の上野に、名におふ塔の高い白い二大圓柱にさゝげられて眞黒な空の下に大紅蓮を咲かせ魔王の怒りの樣に炎々と燃えてゐた**智德**の焔は何故に消された？瞬きしない星屑の樣なイルミネーションの沈默を破つて新らしい生命の言を叫んでゐた智德の焔は何の爲に默させられた？プロミシユースよ、汝が義俠の贈物、汝を記念する生のシンボルは侮られた『新らしき黄金時代は來らむ、舊きそれよりもいや美はしく、舊きそれよりもいや優れたる』と焔の歌つた汝の歌は、チユピターではなく心ない人間に禁せられた。

ヴエスタルの處女よ、卿が純潔の身を捧げて晝となく夜となく、まもりかしづき、たゞ消ゆるを恐れてゐた、平和の火神、生命の火神は瀆された殺された。活動のシンボルの焔の消えたあとは、イルミネーションの靜止、沈默が一層感じられる、恰もほとゝぎすの啼いた後寂寞が耳につく樣に。あゝ私はこの焔の消された事をどんなに口惜しく思つてゐるだらう！それは智德の焔ではないか、頑冥不靈たゞ自己といふ小世界に閉ぢ籠つてゐる醉生夢死の徒の多いなさけない現場を打破して立つた靈魂が上に向つてのぼらうとする智と德の焔ではないか、ヘーラクライトスは、火は萬物の本原である、すべての變化の根本動力である、火來れば何ものも之に化し化すればまた忽に煙と變じ去ると云つた。哲學を敎へ宗敎を說き文學を談じ美術を語るこの無聲の大雄辯者を、心ない博覽會委員は甚だしく冷遇した。

聞くところによれば博覽會開會中の瓦斯代金貳千六百八拾圓を減ずる爲に一人二十錢宛の入場料の入る

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

祭日と日曜日を除く外一切此火は焚ぬとの事である。

天に向つて立のぼるあの焔のけぶりからは傳說によるローマンチックな情調や、美くしい詩や深い哲學が不可言の魅力となつて渦巻き出して人に妖術を行ふばかりか我國の藝術に對する心の發達と淺からぬ趣味を外國人に語る便ともなる事を思へば僅武千六百八拾圓むしろ安價に驚く程ではないか、ケチ臭い委員である、わからずやの委員である、藝術を尊重する資産家があらはれて個人の寄附であの火を燃させてみるものはないか、私にさうした富があればたつたひとりでゞも燃させる、こんな言をいつて、もし昨日は爲に泣いた北海東北のあはれな同胞を忘れたのかと問ふ人があれば私はコンコードの哲人の言を借りて『人間は不自然な狹隘な前後一貫の思想に囚はるべきものではない』と答へるのである。

人間の心は自由で且つ尊い、苟くも此處に意義ありと確信する處に嚴肅なる意義が存するのである、よしと信ずる事の爲に盡す心の眞面目に意義があり生命があるので、物の分量や金額や行ひの價値の高下と云ふ樣なものに一定の標準、絕對の定義があるとは思はない私はこゝにヘーラクライトスの說をひく。

『靈魂は火氣である、絕えずその活力を保たうとするには常に感官及び呼吸によつて宇宙の火氣をうけなければならぬ。』

消極的な、小膽な、ものゝ精神を滅却してたゞ物質營利の末にはしつた、うつろなみじめな博覧會は外觀が如何に善美を盡しても根本に於いて火神の呪ひを受けずにはすまない。

天に向つて燃え樣とする、彼の塔上の智德の焔はやがて人心の要求の象徵ではないか、現代に於ける物質の壓迫が精神に及ぼす處正に斯の如してあると思へばたゞに瓦斯代の問題として聞き流しにはならぬのである、多くのものゝ心の中に燃えてゐる智德の焔を原則に外れた、經濟論や愚にもつかぬ委員會の決議で燃料を制滅し感官や呼吸を塞息してどれ程消滅させ、枯死させてゐるであらうか。

私たちは『山上の壓制者を賴ます自ら火を得べきである』太陽につく程の長い葦の髓は何處にある。

（不忍池畔花近き夜のたかどのにて）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

告白一片

有田しづ

文子さま

私は彼月から此方一日として安らかな日は御座いません、あの新聞事件――そうです、私には最も重大な事件でした。日頃自分程強い女は無いと思つて居つた事も、あの事件以來自分は眞の自己を自覺しなかつた。まだ社會に對して僞はりを言つて居たと言ふ事も覺りました。新らしい女の一人だと而かも皮肉くつた齒の浮く樣な文字をならべて一人をさまりかへつていふ男、新らしいの何たるを解しない無智な男、己が淺薄なるを自から世に示す思慮なき男、私は今此男の爲めに一種の打擊を受けつゝあるのです。現代に呼吸して居る新人だとの自覺は今暫く大きなものにぶつゝかつて始めて覺る事の出來る言葉でした野に咲いた可憐な鈴菜の花を蹂躙して得意がる男、彼れも日本男子の一人でございます。最もよく島國根性を表はした狹き男の爲す事に果して見るべきものがあるでせうか、自分の意をしりぞけられた無念はまだ彼の胸中を包んで居るのです。

彼れの如き無智な淺薄な而かも何等の自覺なき異性の爲めに虐げられつゝある私を御哀み下さい、私の心はあなたが一番よく御存じの筈です。けれど文子さま、御安心下さい、私には自信があります、今例へ彼の爲めに如何なる迫害を受けたとて、それにくぢける私ではございません、それ程迄弱い私ではございません彼れにしてより以上の教育あり思慮ある者でしたら、私を最も容易く征服する事が出來ますけれど、何を申しても野蠻國の猛獸の樣な心をもつてゐる教育の無い男であれば仲々難いのでございます。若しも私にして腕力があるならば言葉を言ふまでもありません。二十日も過た昨日又もある新聞に揭載されました、而かもそれが前と同じものとは、茲に至つて私も開いた口が閉がりませんでした。彼は私に同樣なせまり美事はれられた無念、否腹いせにコンナことをするのです、實に卑劣な仕方です。

私が美少年と共同生活をしたい何んて、何を聞きちがへて居るのでせう、私は今以上に眞面目な生活は出來ません。日に舞込み來たる男の手紙の數は決して少なくはありませんそれが皆一樣に同じ樣な文句、貴女の樣な思想をもつた女と話してみたいとか、僕は新らしい男を以て任じてゐる天下の藝術家だとか、何んとか、それは〳〵誘惑の手は私の身を取まいて居ます。絕えず不安な心をもち乍らきりぬけて行く私の心若い二十歲の姿を黑い誇で包む今の境遇、悲しい哉私の現在は脇見を許るしません、行けるだけ進行せねばやみません、たとへ目の前に此度の樣な事件が幾つきても行く處まで行かねばならないのです、私には深い〳〵決心があるのです。

五月まつ小田のますらをいとまなみ
せきいろ水に蛙なくなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

人種改善の方法

西川光次郎

（一）法律の力

人種改善學の見地から、墺太利、瑞西、及び米國の大部分は、氣違其他の結婚を法律で禁止して居るが、此の禁止の範圍の最も廣いのは米國ワシントン州で、此の州では『飲んだくれ、常習犯人、癲癇病者、虚弱者、白痴に近きもの、重き肺病患者、氣違性の遺傳あるもの、傳染性の花柳病に罹れるもの等』の結婚を禁じて居る。又米國のインデヤナー、ワシントン、カリフオルニア、コンネクチカツト、ネバダ、アイオワ、ニユヂヤシー、及び紐育等の諸州では、或種の人々に對しては、或は生殖腺を取り除きて性慾を壞滅し、又或は輸精管截除によりて其人の生殖細胞の體外に迸出するのを防ぐ、外科的手術を施してもよいと云ふことを法律で規定して居る。

斯かる規定を見て、結婚に干渉する何んて甚いと驚きコンナ干渉は曾てなかつた事の様に云ふ人があるが、斯かる人々は、歷史の智識と世界の智識に乏しいからソンナ謬見に落入るのであると、云はざるを得ぬ。

一夫一婦の制度の如きも、自然に起つたものでなく、社會の安寧と云ふ上から考へて、當初は宗敎の力や、法律の力で强制し、永い間に一夫一婦を尊ぶ習慣と、之れでなくてはならぬと云ふ感情とを養成したものであることは、少しく歷史に智識あるものならば、知つて居ねばならぬ筈ではないか。

マレー半島の蠻族の間では、妻子を扶助し得るの力あることを示さねば、絕對に結婚が出來ぬので、結婚せんとするの靑年は、他種族から取つて來た首の數に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

よりて、其の力あることを示すを常として居る。又印度では五年以内に或救貧院に居たことのあるものは、既に家族を支へ得るまでに經濟的能力が發達して居ることを示さぬと、結婚することが出來ぬソウである。之れと同じ思想から米國のデラワア州では、窮民の結婚を禁止して居る。其他孰れの文明國も、程度の相違こそあれ、皆な近親の結婚禁止、其他の制限を結婚の上に加へて居るではないか。

現に日本の民法でも

第七百六十五條　男は滿十七年、女は滿十五年に至らざれば婚姻を爲すことを得ず。

第七百六十六條　配偶者ある者は重ねて婚姻を爲すことを得す。

第七百六十七條　女は前婚の解消又は取消の日より六ケ月を經過したる後に非ざれば再婚を爲すことを得ず。

第七百六十八條　姦通に因りて離婚又は刑の宣告を受けたる者は相姦者と婚姻を爲すことを得ず。

第七百六十九條　直系血族又は三親等内の傍系血族の間に於ては婚姻を爲すことを得ず但養子と養家の傍系血族との間は此限に在らず。

第七百七十條　直系姻族の間に於ては婚姻を爲すことを得ず、第七百二十九條の規定に依り姻族關係が止みたる後亦同じ。

第七百七十一條　養子、其配偶者、直系卑屬、又は其配偶者と養親又は其直系尊屬との間に於ては第七百三十條の規定に依り親族關係が止みたる後と雖も婚姻を爲すことを得ず。

等の規定を設けてあるではないか。

されば人種改善學に敎へられて、此等の制限を今少し精密に、適切にしたとて、構はぬではないか。否ソレは反て望ましいことではないか。私は或種の人々に對しては法律で結婚を禁止し、若しくば強制的に其の生殖力截除の手術を施してもよいと考へる。たゞ疑問として殘れるは、強制的に斯くさるゝ人間の資格に就てのみである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私は尚ほ之れに附け加へて、諾威に於ての樣に、結婚に際し、双方から結婚を不許ならしむるが如き惡質なきことを證する、責任ある醫師の診察書を提出して取り交はすことを强制したいと思ふ。而して一方が惡質あることを隱蔽して結婚したと云ふことが發見された場合には、結婚を無効ならしむることが出來、又結婚後發した病氣にてもソレが相手と其の子孫に危害を及ぼす場合には、協議の上、離婚若しくば其他の方法で、其の危害を受けぬ樣にすることの出來る仕組にして置きたいと思ふ。

(二) 人種改善學上の智識の普及

併し法律で右の如く規定し、之れを勵行すると云ふ丈けでは不充分である。私は同時に學校其他で、性の衞生學を敎へて少年少女の性的本能の發達を正當に導くことが大切であると考へる。

又男子に對しては理想の妻の資格に就き、女子に對しては理想の夫の資格に就き、人種改善學上から豫じめ敎へて置く必要があると思ふ。戀は盲目的であると云ふが、夫れはモウ戀が第二期へ這入てからのことで、其の初期に於ては戀と雖も必ずしも盲目的ではない。かねて懐ける理想に近いものに對してゞないと、人は眞の戀情を起すものではない。されば人種改善學的智識で、戀を導くと云ふことは必ずしも出來ないことではない。斯く法律の力と、人種改善學の智識の普及とによりて人種を改善しようと云ふのが、人種改善學が敎ゆる人種改善の方法なのである。

●三銀の旅行用茶器

新橋際美術陶器舖三銀本店は市内有數の老舖として殊に其製品は意匠巧妙品質精良を以て有名なるが其四季に因める陶器の如き美術品としても他に類を見ず常に新案を凝らして斯界を賑はし居れる店主は此程旅行用籠入仕込の茶器を案出して賣出せり同品は急須、茶碗、大小茶入、茶巾等一揃塡しの籠に入れたるものにて茶好きの風流人が旅行中の茶器として携帶するには至極重寶なるべく或は遠方へのお土產進物としても頗る適當の品なり

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人論八ツ當り

八方醜婦

四月號の「新眞婦人」に掲載されました大江卓氏のお談は、サスが經驗に富み、甘ひも酢ひも味ひぬいた方のお談丈ありて、誠に味の深ひものと感心して拜見致しました、仰せらるゝ事は何れも至極御尤と思ひます、と、同時に、男子方に向つても、私は同じ事を注文したいのです。

第一、同氏は世の妻君達の集りではおしまひには夫の棚卸が始まると申されましたが、全くそんな事實もありませう、が、男子方のお寄合では何日も他人の惡口が始まりますのはドー云ふものでせよう。又客人の前で屢々妻君や下女を叱かつて、其客人に對する御愛そうの様に心得て居らるゝのは、何故でありませう英國では紳士と云ふ語に定義を下して「紳士とは他人に向つて己れの事を吹聴し或は他人の惡口を云はぬ人なり、」と、申すさうでありますが、日本の男子方で此定義に叶ふ紳士が幾人居られませうか。それに私共婦人がお互に話合ふ時に、髪や、衣服や、芝居のお話やら、又夫の棚卸やら位の事しきや、しないのは誠に恥づ可き事ではありますが、こんな話しきやしない、出來ないのはどう云ふ譯でありませうか。其罪の一半は私共自ら負ふのは當り前でありますが、又他の一半は、女と云ふ者は臺處に引込んで煮たき洗濯又は子供の世話丈をして居ればよいもので、他人の前に出たり、新聞、雜誌、書籍等をナマイキに讀む者でない。政談は素より、其他の演説會などにも出席してはならぬものぢや。内をソトに出あるくなどは以ての外だ。なんと、頻りに私共婦人を頭から抑壓して教育も智識も見聞も出來る丈狹まくなさしめんとする男子方の無識、狹量から起るのではありますまいか。斯かる智識淺く見聞狹まきものが集まつた時にツマラヌ話しか出來ぬのは當り前ではありますまいか。先年日露戰爭中米國婦人の一大團體が、戰勝國たる我國を慕ふて訪問した時に、其接待に出られた貴婦人連中が米國婦人に對して申されし事は、何れも皆、「天氣がよくてよろしゆう御座います、皆さん、旅のお疲れはありませぬ」かとの一點張りて、其他の事は一切話が出來ず、客人より色々御愛そうに聞かれても、一向受け答へが出來ず、只顔を袖にかくして、微笑する計りであつて、之れが東京計りでなく、京都でも、大阪でも、廣島でも、同じ事であつたさうです、そこで或る日本人が此等の米國婦人に日本婦人に對する感想を聞いたらサスが交際に慣れた米國婦人丈あつて、辭令は中々巧なもので「日本婦人方の温雅、從順、謙遜なのには感心してしまひました」と、之れを聞ひた人は直に之れを新聞に掲載して、米國婦人でさへも我國婦人をコンナに褒めて居る、之れが我國婦人の世界に誇る可き美徳である、それを何ぞや其美徳を捨てゝ西洋婦人の眞似を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

するとはと、エラク氣焔を吐いた人もありましたが、豈計らん哉、或る彼等米國婦人に別懇な日本人が彼等に忌憚なき日本婦人に對する批評をして吳れと云つたら、「戰勝國民の貴婦人丈あつてサソ生氣あり活溌な婦人方に面會が出來ると樂しんで來て見れば、何れも皆、お天氣がよろしうて結構です、旅のお疲れはありませぬかの一點張りで、其他の事は一切話が出來ず、私共の質問さへもロクな受答が出來ず、張り合のないこと夥しく、之れで世界の一等國の貴婦人だとは驚ひてしまひました」と米國婦人丈に卒直な返事をしたさうですお世辭には表裏のあるもの、日本婦人の恥は日本男子の恥ではありませぬか、男子方が私共婦人の欠點を指摘せらるゝ前に先づ御自身の無識、狹量、不心得を猛省せらるゝ必要はないでせうか。

第二、「夫の月給高さへ知らぬ妻君」と申されますが、自分の月給や收入を正直に妻君に打明ける夫が幾人ありますか。月給や收入を聞いても「ソンナ事を聞いて何にする、暮向に必要な金丈滯なく出してやれば文句はないぞ、ワシの月給や收入を聞く馬鹿があるものか」と一言の下に妻君を睨み付ける夫のあるは私共の常に見聞する所であります。又妻が夫に夫の事業や役柄を聞いても「ソレを聞いて何んにする、女は臺處の事丈氣を付けて居ればよいものである、女が男のする事を彼是れ聞くものではない」とはね付ける男子のあるは私共の常に見聞する所であります、コンナ事でどうして妻が夫の事業や境遇に深き同情を表する事が出來ますか、夫の有力なる內助者となる事が出來ますか、夫の無限の慰藉者となる事が出來ますか、大江氏の御不平は至極御尤と思ふと同時に、其罪は半ば男子にあると思ひます。

第三、「艶のない妻君」是れも亦た其罪大に男子にあると思ひます。今日の男子方は多く待合や妾宅では頻りに目尻を下げ相ごうをくずしてヤニ下がつて居らるゝにも關はらず、妻が少しでも藝者や妾と同樣に向つて親しくせんとすれば「何ンダよい年をして、見トモないではないか、子供等の手前、ソーデレ〳〵されては困るぢやないか」などと不平を云はるゝではありませぬか。甚しきは夫婦一所に外出する場合、夫は一二間妻の先に步みて他人同志の如く見せ掛けて居らるゝ方さへあるではありませぬか。それで以つてやれ愛嬌がないの、モット艶ヤポクしろなどゝは餘り無理ではありませぬか。

第四、「夫の嗜好を知れよ、」これは妻を奴隸や高等下女と思ふて、一から十まで何事も自ら指圖して更に妻に自由の意志で自由に撰擇、行動する事を許されぬからです、之れを許るして之れに慣れしむれば、生來の白痴ならば格別、普通の女ならば早晚必らず目端機轉のキク妻君となるは請合です。

要之大江氏の御注文は一々至極御尤でありますが、其罪の半ばは男子にあると思ひます私共が常に唱へてをります樣に、モット婦人に敎育を施こし、婦人をして男子同樣に種々の方法で、其見聞を廣める樣にされたならば、キット同氏が十二分に滿足せらるゝ樣な婦人が

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出來る事だと確信します。

四月一日號の「婦人評論」に、鳩山春子女史の談話として「婦人の天職」と云ふ題のお意見が掲げてありますが、我國婦人界に最も名高き女子教育家方の間に盛んに行はれる、不徹底なる議論の標本として少しく之れを批評して見たいと思ます。是等教育家は古來の傳說や習慣を基礎として唱へらるゝ女大學流の議論にも媚びざるを得ざると同時に、今日の最も進歩したる學說議論にも賛成を表せざれば守舊家と嘲けらるゝの恐れあり、兎やせん角やせんと其岐路に迷ひ、終にドッチ附かずの說を述べざるを得ざるハメに陷入り居らるゝが如く、從ふて其議論の曖昧なる事、其論旨の不徹底なる事は已むを得ないのであります。兎に角少しく鳩山女史のお談話を批評して見ませう。「婦人が社會的の事業にたづさはるは特別の場合を除いては弊害が多いと思ふ」と云はれて居りますが、ドンな弊害がありますか。社會を組織して居る人間の半ばは婦人であります。次代の國民を生み、之れを哺育するの義務は婦人にあり、從ふて將に來らんとする次代の社會の運命は半ば以上婦人の手にあります、それに何故其社會の事業に婦人がたづさはるのが弊害が多いでせうか。婦人も男子と同樣此世に生れ來りし以上は、男子同樣生存場裡に立つて居るのです、殊更に男子と同樣なる事業をなす事計りが生存競爭ではありませぬ、而して婦人は現在は素より過去數千萬年間此場裡に於て、劣敗者として男子に壓伏されて居るのです。女史は之れを恥辱と思はないのですか。女子自ら此境遇に甘じて居りたいのですか。女史は之れを過去は已むを得ずとしても、現在及び將來の婦人にも甘んぜよと勸められるのでせうか。現在及び將來の己が生む子女に母として男子同樣に尊敬を受くるを望まれないのでせうか。劣敗者として奴隷の境遇に甘んじてゐながら、夫に對して優い妻であり弱い者であるは聞こえてゐますが、尚ほ己が生む子女に威嚴ある母として其尊敬を受けん事を望まるゝは矛盾も甚しいのであります。

女史は「獨立出來るだけの才能があると云ふことゝ、獨立生活と云ふことゝは自ら別問題である」と云つて居られますが。それと同樣に婦人が社會的の事業にたづさはり、男子と同じ職業或は職責に就く事と、獨身生活とは別問題であります。則はち婦人が結婚しても社會的事業にたづさはつてゐる者は澤山あります。妻となつて夫と同じ職業及び職責に從事してゐるものは數へきれぬ程あります女史の御議論は社會の事業と合はざるの議論であります。而して世界始まつて以來、女は概ね皆何等かの形式によつて男と結婚もし、又育兒もして來たのです。之は自然であります。何にも結婚生活は理想的の生活だの、育兒は人類に對する最大の天職だのと六ケ數ことを云ふて男女一所になりはしないのです、向後とても結婚する事の出來ざる事情があるとかふく／＼結婚が嫌らいな者を除くの外は皆何等かの形式によつて結婚するに極つてゐるのです何にもそんなに心配するには及ばないのです。而かも尚ほ獨身生活を營まんとする婦人あら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ば、必らず何か其原因事情があるに違ひないのです。其原因事情を確かめず又得心して結婚出來得る樣に仕向むけずして、單に天職呼ばりしてもそれはムダの事であります。

女史は「結婚及び育兒は人類生活の大本である、それで婦人に取つては貞操と云ふ念は。。。たいへんに大事なことになるのである」と云つて居られますが、人類繼續と貞操とを一所にくつ付けられたのは、何んに據るのですか、女子の數男子の數に及ばざる社會に於て必要なる一婦多夫の制度は如何に說明せんとせらるゝか。貞操の感念は始め財産の確立上起り一夫一婦の制度行はれ始まりしより其必要上自然と發達せしものなる事は、少しく世界の婚姻史を研究せし者は皆知る所なのです。女史は未だ婚姻史を研究せられざるにや。則はち人類の繼續と貞操は區別して考へなければならぬ問題であります。

女史は「女が獨立が出來ると云ふ才能を賴んで勝手な自由結婚をするとか、或は自分以下の男子と共同生活すると云ふことになつては、終には人種の墮落を招くことになる」と云つて居られますが人種の墮落云々は人類の墮落と云ふ意味でありませう。然らざれば意味をなさぬのでありますが、果して墮落となるや否やに付ては人々各々其見を異にするが、才能を恃む女が必らずしも、自由結婚だの共同生活をなするとはキマツテ居らぬのです、而かも才能を有せざる女にして、自由結婚や共同生活をなして所謂私生兒を生む者は數へきれぬ程我國にはあるのです、新らしき婦人の一人や二人自由結婚や共同生活をしたとて、一大椿事でも起つた樣に驚くには及ばないのです。

それならばと云つて女史は昔の女大學式ではいかぬ、高等女學校程度以上の學問を婦人にさせればならぬと云はれて居ります。さうかと思ふと「兎角女から學者風に出られると云ふ事は本能的に男は好まないのである」と云つて居られます。親としては娘に嫁入前に新しい學問教育を施すは勿論、夫としても、多少の不便を忍んでも、廣く機會を利用して、交際、育兒、學事經濟上の智識經驗を得せしむるやうにするのは、今日の時代の夫としての義務であらうと思ふ」と云ふて居られます。斯く婦人を教育する結果は、終に婦人の自覺を促がし、今日の境遇に不滿足を感ぜしむるに至るは知れ切つた事であります。婦人に自覺を起さしめず、今日の境遇に不滿足を感ぜしめずして、婦人に高等教育を施さんとするは、無理な注文です。之れが則はち最初に不徹底な議論であると云ふた所以であります。古るきに從はず、新らしきに偏んせずして、ウマク其間を操つて行かんとせらるゝから、ドツチ付かずのものになるのです。ソー甘味く問屋で卸さゝるを如何にせんやです。時代に適應した新しい意味での良妻賢母などゝ云ふ樣な事を云つて居られますが、これが則はちウマク調子を合はすと云ふものです。昨日の日本は今日の日本でなく、今日の日本は明日の日本でなく、我國は日に月に進歩變化しつゝあるのです。其刹那〳〵に適應する事のみを務めん事はトテモ其煩に耐へざる所です。故に深く問題の根本に立ち入つて、茲に大方針を確立せねばならぬのです、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

古るきに泥まず、新らしきに偏せず、カマク其間を折衷して渡らんとするは、曖昧、不徹底の原因となるのみです。之れが則はち今日我國の女流教育家の採らるゝ手段です。其意見や方針の朝三暮四に變化して底止する所を知らぬのは當り前です。本月の「婦女界」の結婚號に「嫁たるべきもの〻心得」と云ふ題で、棚橋絢子女史は頻りに古るき小學など云ふ本を土臺に、夫婦は君臣の如きものだから、婦人は始終從順でなければならぬと懇々説いて居られます。女子の大學入學は許可せられ、或る一部の婦人間には既に參政權運動をも開始せんと計畫し居る此大正の時代に、事もあらうに昔の小學など引出して來て、從順の御講釋など臆面もなくされては少々恐入らざるを得ませぬが、兎に角サスが女史丈ありて旗幟は鮮明です。私はホト〲女史の勇氣に感服しました。それと反對に、今日の婦人論者は婦人に男子同樣の權利と機會を均等にし夫婦は君臣にあらずして伴侶でありたいと主張してゐるのです。此兩極端の間に介在して今日の女流教育家はドチラとも付かざる、曖昧、不徹底の議論をして居らるゝのです。而して其下に教育されて居る生徒等は殆んど其歸着する所に迷ふてゐるのです。誠に罪な話です。鳩山女史は果して此兩極端の孰れを選らばんとせらるゝにや。

編輯だより

△高野重三先生に御紹介して頂いて居た、オリブ・シユライネルの名著『婦人と勞働』もいよいよ完結になりました。新らしい知識の紹介とか飜譯ものとか長く續くものになりますと、讀みかけた方は待受けて讀みますが、さもない方は一寸取付が惡いとか、難かしいとか云ふ感じがして讀みはづしますが、これはいつも申します通り、至極綿密なもので分りやすく如何にも首肯されるもので御座います、もしまだお讀みにならぬ方がありましたら、誰方も讀んで下さい、次號からは別に何にか他の名著を矢張り高野先生に紹介して頂くことになつて居ます。

△本誌は去月で滿一ケ年になりました、十二册の合本が美くしい製本に出來ました。御自分に御保存下さつたり、又御友人方に御進呈下さる爲めに、この際御取りおき下さい。製本代送料共金壹圓貳拾錢御送り下さればすぐ御送り申上ます。

△此月は私は初旬から少し體の加減が惡う御座いまして、一日の中午後からの半日は殆んど病床で、苦しみました、その爲め、思ふ樣に運動も出來ず、先月から頂いてあつた原稿の中なほ掲載いたしたいものも澤山ありましたが、やむを得ず、切りつめて編輯せねばならぬ事になりましたのは、遺憾で御座います、御諒察を願ます。（文子）

西川光次郎編輯

自働道話

毎月一回、十日に發行します、十部十錢、五十部以上一部五厘の割

平易に修養、處世、家庭の改良等を說く雜誌で、近頃流行の自働器に入れて市内の要所にかけおき、一錢入れると出て來る樣に仕組ました所から斯く名づけたのです。外に有志の方に五十部（二十五錢）づゝ御引受け御配布を願ひ何萬と云ふ程出して見たい希望なのです

東京本郷區駒込林町二〇六

自働道話社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「魔の曲」を讀む

西川文

十數回の愛讀者であるあぐりさんから聞いて居て一度よんで見たい／＼と渴望して居た、高安先生の「魔の曲」を先月讀んだ。近來に見受けない崇高なもので深く／＼感じた是非讀んだ感じをかいて、まだ讀まぬ方にもおすゝめしたいと思つて居ると、直ぐ取り上げられて了つた、又此月の初めにかりて讀んだ、いよ／＼うれしい懷かしいものだ。著者よりズット乳臭い私が、潜越も失禮をもかへり見ないでこれをかくのもその爲めである。

主人公玉野恭二の新作「髑髏の曲」を、女弟子の三輪雪代は音樂會でまるで自分の心から出たもの〻樣に奏した。作者は非常に喜んだ、聽衆には解らなかつた。和でも洋でもない鵺の樣なものだとあざけつた、その夜東山から出た名月を眺め語りながら歸つた、恭二は身の上話をしみ／＼と語つた、「アヽ月の曲が作りたくなつた」と云ふ。歸つてからも神興が湧いて月の曲を作らうとする、ピアノの音に肉身の子は泣き出す、精神の子はかき亂される、神興は啼破られた。「精神的生活をする者は妻を持つてはならぬのではないか、藝術が卽ち妻で創作が子ではないか、此の妻の外に人間の妻を持ち、肉身の子を作るから不義になる、——藝術的本能丈に滿足して妻も子も家庭も愛も棄權せねばならぬのではないか。然し藝術より先きに妻を得、天才の自覺より先きに肉身の子を得たのである」と現實と理想と藝術と實情との葛藤を現はしてある言々句々一字々々實にいゝ。翌日「髑髏の曲」の記念に恭二は「ダンテの夢」の額を雪代に送つた。雪代はそのまゝ須磨に歸らねばならぬ事になり、それが餞別になつた。

二人が眞に知るのはこれからである。

翌朝古い男弟子が音樂會の評のある新聞を持つて來た、目茶／＼に嘲罵されたのを答辯しなければ、あの曲の生命にかゝると力む、曲の保護の爲めに社會に奮闘を望んでも恭二は「そんな弱い生命かなあ」と云つて一向取上げない。

「恭二は決して無感覺ではない妻や弟子より數倍怒つた、しかしいかに惡口されても惡口に對して惡口を返すは自から卑しくするのであるとは知つて居る。戰も主張も自信も總て藝術で現はさうと決して居る。藝術家は唯理想に安んじて居ればならぬと解して居る、——一生努力して人からは非難酷評冷遇無視、嗚呼遂に不愉快である、——心の内にも不滿足がある丈け尚不愉快である。酒にも自然美にも忘れる事が出來ぬ丈け尚不愉快である。

こんな時に雪代から封書が來た。

「まだ美の峰の麓で、もう登つて行く事は出來ず、紫の雲の向ふの微妙の天樂も遂に聽かれぬかと思ふと命より惜しい夢を見はてぬ樣で

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御座います」――、了解せぬ世の秋は冷たくとも
とはの女性に暖かい春はございます、さびしい
と思召す時お耳を澄まして下さいましお側へ通
ふ聲はございませんか。今から草におく白玉も
露とばかりは御覧なさらず。――
と長い手紙の中にはこんな文字がある。
恭二は又長い返事を出した。その末に
「別れてから始めて知るのは此世でない神秘の
心でせうか。あゝ靈に通ふ、此聲心に染む
此露今こそ始めて心の底から溢れて出る靈の
喜びを感じました。此思が月の曲になるか――
神興が忽ち起つて來て手も顫えますから筆を
措いてピアノと代へます」
月の曲が出來た、それも送つた。
「私も今の世に生れて新らしき思ひを抱きなが
ら尋常の女の樣に唯此世をつぐ小田卷の糸
になつて止まうとは、餘り口惜しいのです」
と雪代は云つて來る。
恭二も亦
「誠に天分を伸ばさうとするのは自然の情です
それで人類は進歩するのです。それを壓抑して
唯世丈繼いだと云つて、輪廻の車に肉を積む
ばかりです。心靈は破れ裂けていつ完全にな
れませう。――昔ながらの女子の身は遂にそれ
に囚はれなさるのですか。希望も理想も特長
も凡俗の生活に消しておしまひなさるのです
か。あゝそれは墮落です、――世間で用ひるよ
り眞の意味で墮落です。――あなたの靈ばかり
でなく私の靈の一部も裂かれる樣です、今まで
はあなた一人で苦悶して居なすつたから境遇
に負けたでせうが、同じ世に同じ情が二つあ
つたら、何か怖ろしいものですか。――女は殊
に全く認められなかつた女の精神を現はす
時代です。――愈々藝術を磨いて完全な女
におなりなさい、肉體を清めて理想の女におな
りなさい、私もかね〳〵神聖を極めた一曲を作
りたいと思ふて居ましたが――これから靈の美
輿にのつて神の境に入り新らしい神の曲を作
りませう――それを彈くのに十分な神聖な女に
おなりなさい。
雪代は早く父に別れて母の連れ子になつて、今
の家には來たのである、繼父の先妻の子が卒業
するのをまつて堅さるゝ事に定められ居る、
「運命は愈々物質におち、平凡に終る、沙漠
より不愉快、無趣味な生活、不自由な心の束
縛、いつそ抜け出さうかと思ふ『此前とは違ふ
て同じ世に同じ情。』
しかし彼方には妻がある、否それは何の關係
もない、純藝術の修業、純精神の同情、し
かし同情丈けでは限りがある、藝術丈では
心細い、父に逆い家に叛き世に獨立つ賴に
ならうか。更に深い情の極致――師弟よりも
朋友よりも同胞よりも更に厚い情の慰藉――あ
ゝ靈と靈との一致がそれか。肉體を飛越した精
神の結婚藝術がそれか――藝術を一生の事
業としてそれに互の情を寄せ樣か、作曲を
子と思ふて母の樣に育て樣か。――神の曲が出
來たらそれを彈くに十分な神聖な女になれとは
嬉しい樣な怖ろしい樣な、――一間に閉籠り復
『月の曲』を彈くと幻の花は招く樣な月の光りに
あこがれて抜け出やうか。
しかし彼人には妻がある。其間柄はどうであ
らう、現實的か精神的か。現實の情は仕

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

方がない、精神的なら餘地はないか、さう思ふのが旣に罪か。——戀か墮落か、しかし此戀は獨身になるのである。肉が墮落か、しかし此肉は婚姻といふ名で世間が公許して居るのである。家が定めて居るのである。さても異常な葛藤に其夜も寢ず、煩悶に煩悶を重ねると仕舞には思案も盡きる、いつそ思切つて拔けて出やうか。』

雪代はかうした苦悶の中にも行くに行かれず、居るに居られず絕えず苦しき手紙をかいた。恭二も直ぐにも行つて慰めやうと思ふがそれもならず手紙で慰めあふて居る。

雪代の手紙の表がきさへいたく恭二に似て來た恭二と妻の春江とは戀に始まつて、親戚の反抗にも打勝つて、一しよになつた。十年間たゞの一度の不滿足も不愉快も感じなかつた、今も不足はない、彼れが神興ならこれは實情である。十年間一度も疑ふた事のない、春江は注意し出した。愈々塞ぐ愈々考へるのはどうしてもあの手紙?と。

丁度受取つた一封殊に厚いのは曲者と恭二の前へ持つて行つて『郵便が來ましたよ』『さう』と手に取つて見て其儘置く。

『明けて御覽なさい』『跡で見るよ——』『ぢや私が明けますよ』

こんな問答がおびたゞしくつゞく

『そんなに見ちやいけないんですか』『——』

春江はハツと思ふた。さては此手紙である。塞ぐのも、考へるのも『あゝ分りました』顏の色が代つたので恭二もハツと思ひ『何が分つた』『何もかも分りました』『もう見なくつて澤山』臺所へ行かうとする、恭二は止めて『お待ちよお前何か誤解したね』『誤解?エイ今まで誤解して居ました』『いゝや今誤解したに違ひない、ぢや明けて御覽ん』『いゝやもう結構』『でもそれぢや困る愈々誤解するだらうから』『もうこれからは誤解しません』『それが誤解だ』『——』『——』『愈々誤解するね、お前は精神と肉體と混同して居る理想と現實を混同して居る。肉體の情、現實の愛ならそれはいけないが私はそんな人間ぢやない純精神的だ、純理想的だ。だから何もあれ一人ぢやない此頃は段段博愛になつて萬有に同情を見出さうとして居る』

と恭二は云ふ、春江が

『そんな博愛は結構、愛は個人で澤山です。本當の愛に餘地はありません——理想の現實のと區別があるものですか』

と云ふと『それはお前覺えがないからぢや』と云ふ『ぢや貴君確かに區別なさるね』

『あゝ區別する』

『ぢや理想の愛を人に捧げて現實の情丈私にお殘しなさるんですね』

とつき込む、『エー』と面喰ふ所を春江はすかさず『そんな情なら入りません、精神の拔けた愛が何になります魂の無い肉體ならいくらでも人に讓りましやう。物質的の妻となつて居る位なら獨りになります』

春江も新らしい女である。むつかしくなつて來た。現實の愛に充たされて居る場合にも、自己の理想や藝術や主義に對する知己に精神的純愛の結ばれる、こんな場合はまゝあらう。かゝる場合に彼れと是れとは別としておくべき

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものであらうか。又春江の様な處置に出るべきであらうか。恭二
「何を云ふんだよそんな極端な事を云ふものではない。」
「貴君だつて極端ですよ。私は貴君に寫されたんでしやう、また極端でなけりやつまりません。極端の愛かさも無けりや極端の無情です、區別のある様な曖昧な愛は入りません」
「曖昧な事はないよ、現實的だ」
「いゝえ貴君は現實がお嫌です」「――」「現實を離れて理想丈けの愛があるものなら其の愛な戴きませうそれも出來なけりや獨り暮します」
「何を云ふんだよ大層な」
「大層な事ですこれ程の大事はありません、只の女狂なら私は世間の人の様に彼此云ひません、がこれは魂を取られ樣と云ふんです。女に取つて人間に取つてこれ程の大事があるものですか」
かくて遂に封を切つた。手紙はいたましい苦しい悶のあとであつた。

破裂々々十年の情も遂に破裂と苦悶に苦悶を重れた末春江は或日恭二に須磨へ行つてゐらつしやいとすゝめた。恭二は精神の往來は手紙で澤山だ理想に不似合だと云ひどうあつても行かぬと云つた。折しも神戸から音樂會に招かれた恭二は行くと云ひ、春江は又止める。
藝術の爲め天職の爲め是非行く、やらぬと云つて居る中に、須磨の別莊に病氣保養の兄から危篤で迎へられた。
八日九日と滯在して居る中に濱邊に散歩しては雪代にもあつた。
兄は死んだ、雪代はアメリカに行くと云ふ。
恭二は今日歸ると云ふ。
「今日――それでは愈々これ限か手紙丈は前の樣に出して下さい」
「前の樣にはかけますまい」
「誰が出來たら、送つて頂戴」
「エイけど尚分らなくなるでせう」
「藝術の關係も絶えるのだ苦悶も此に至つて言葉はない」
「雪代はもう何もかも捨てゝ先はどうあらうとも今の苦悶を解かうとした、が恭二は苦悶に苦悶を切合せて動かぬのである。
唯一目今まで見た事もない復見られぬ顔が、靈か二人は見合せて別れて了つた。あゝ眞に一人――」
全靈の純愛に入つたこゝ千金に價して何とも云はう樣ない。春江は歸つて來た恭二になぜ別れて歸つたかと云ふ。「モー逢はないアメリカへ行く」と云つて「ハー……」とぞつとする程氣味の惡い笑なし、部屋に閉ぢ込もつて、バイオリンに胸を裂く樣な音を出し、五線紙にかきにかいた。
「神の曲」は鬼の曲に變じた。
實に悲壯の感に打たれる。
寢もせず休みもせずかきにかいて恭二は倒れた。雪代からもとう／＼床に就いたと云つて來た。春江は
「あゝ思ふと酷いも酷いこの人でさへかうなるとは、此情でさへかうなるとは、男と云ふものは、人間と云ふものは、この世といふものは、そんなものか、貧にも思はなかつた浮世の

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今こそ、つく〴〵思ひ知つた」と云つて居る。
遂に破裂の日は來た。恭二が何かかいて居る、春江が見やうとするとかくす、何をおかくしなさると云へば、何とも知れぬいやな顔をする、春江もたまりかねて「さよなら」と子をつれて出て了つた。
「吾家も破裂してしまつた、妻も今出て行きました私は唯一人神の曲より寃の曲を作つて居ます」と恭二は雪代に知らせた。
雪代は出京して春江に逢ふ事にした。
春江が「遠い所へ行かないでも私さへ居らなければよろしうございませうからと云ふのを、雪代は普通の戀と思はれては大變と辯解する。
「いゝ分つて居ります恭二の心も貴女も」と春江は云ふ、「いゝえお分りになりません、私唯精神上親密に願つて居りましたので――」
雪代は春江より三四年若い丈け智的で、春江よりは熱がない理に落ちる。春江は近松式で強い同情のある、解つた好きな人である。
「若い時から一しよに居る私は親のやうな同情があります。怒りもするが氣の毒にもなり、「いつも貴女の方へ行つて來いと申した位なんですよ――それはいくら情に迫つてもそれに落ちる様な事は出來ないと云ふ事も存じて居りますよ、だから公然私が出ろより仕様が御座いません」と云つて居る。
「それを御信用下さいますなら、何故そんな事を仰しやるんです、假にもそんな氣が御座いませうか」と雪代は云ふ
「でも私だつて只名義ばかりで情の枯れてしまつた暮しは面白くありません」
と春江は云ふ。雪代はどうしても今一度歸る事をすゝめる、「今こそ眞に靈の愛に入らればならぬかと胸も氷る思ひをしながらも」
春江は又泣いて取すがられたら自分も泣いて代らうものを、美くしい犠牲になる事も出來ず始末に困る。
春江は遂に恭二を尋れた、恭二は東京に立つて詫住居は閉めてある。
東京に來た恭二は全心全力を注いだ寃の曲をひつさげて音樂會を開いた、失敗した。卒倒した。彼はその夜明石の海濱まで西下した。計らぬ處で計らぬ人の水死にあふ、曲はこゝで終りになつて居るが、まだどうしてもつゝかればならぬ曲である。さてつゝくとなればもとになさまろか、どうしても藝術は寃、理想は外の戀として現實に〳〵と引かへさるゝが人生か。

＊　＊　＊　＊

牧師であつた恭二の友人今は生命保險に入つて、いたく俗化して居るのがさも徹底したらしく生活宗の人生觀を説いたり、雪代の友人女教師になつて居るのが同じ卒業生の様々の境遇を語つて、今の様に妻になつても、獨立しても不平とは解らぬぢやありませんかと女の不平をもらして居るのがおもしろい。至る所に著者の人生觀悲喜劇があらはれて居る。
大丸で日曜日毎にピアノで景氣をつける事にしたといつて「どうどつしやらう貴君月に百圓では？」と云つて來て、「馬鹿、歸れ」「人を何と思つて居る藝人ぢやない」と叱り飛ばされるあたりや、大晦日に商人家主に拂ふ丈拂ひ盡して、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

罵られろ、嘲けられろ、坐り込まれろ、賣れ殘りの自費出版の樂譜を賣らうにも、紙の價だと云ふ。恭二は怒つて見ろ〳〵一部二部十部二十部五十部百部と引き裂いて屑やにやる所など、よく主人公の性格が現はれて居る。

同じ苦悶奮鬪でも只生活の爲め墮落すると云ふ人に同情するにはあまりに安すぎる。もつと深い理想主義高い趣味の苦悶でなくてはならぬ事があらはれて居る。

作品は作者の品性人格の表現である以上到底先生の如き崇嚴なる深き苦しみを味はつて居る作者にでなくてはこんな作は求められない。

全文詩と劇と、地理文學、歷史文學から成つた美術品、眞の藝術品である。それ丈け形式は稍々古く、自然の情には遠ざかつて居る。そこが長所でもあり、短所でもある樣に思はれる。發行當時にもこれ程の作があまり評判されなかつたのも、讀者の程度の低い爲めに解らず、其趣味苦悶に共鳴する事が出來なかつた爲めだと思はれる。

〰〰〰〰

大佛は眠つて在す日永かな　片桐くみ子
木偶遣いて子と興じけり春の雨　同
行く春を子猫の病みていぢらしき　同
産室に親子の眠る春日哉　同
花散るや婆が豆賣る屋臺店　同
古ひゝな子孫の雛をいつくしむ　稻葉茂子
雛の子のうなじ綺麗に剃られけり　同
雛まつり今宵ぎりなる灯かな　同
雛の窓柳の雨を佗びにけり　同
大寺の靜かさに散る櫻かな　澤村園子
日を避けて扇かざせば蝶來る　同
長閑さに物忘れする日なりけり　同
蝶狂ふ庭に紅緒の草履かな　同
花散るや御堂の椽に下駄の數　すみ子

潮會詠草

夕露の溜り處や瘤柳　猗一
拭き上げし塀艶やかに石楠花　同
雉子啼くや十里草むす古戰場　卜碩
たま〳〵の獲物に騷ぐ潮干かな　同
夏近き店輕やかに飾りけり　同
袂から花のこぼるゝ衣桁かな　同
競ひ凧子供に歸る一日かな　艷女
雨はれて土橋陽炎たんぼ哉　同
たんぽゝや土橋のへりの犬の糞　艮子
傘さして糸を垂れけり春の雨　同
春雨に手枕所望せられけり　とみ子
青海や檳榔の葉に風光る　同
紅梅の根に流しけり化粧水　同
噴水の虹鮮やかに暖き　同

〰〰〰〰

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

新刊紹介

▲**婦人解放の悲劇**（伊藤野枝氏譯）

エンマ、ゴルドマン女史の論文集の中から「婦人解放の悲劇」「結婚と戀愛」「少數と多數」の三つを翻譯し、之れにエレン、ケイの「戀愛と道德」を加へ、更に右二女史の小傳を附錄として一册と爲して出版したものである。エレン、ケイの「戀愛と道德」に就ては、本誌で既に論じたことがあるから、玆であらためて云ふの要を見ないゴルトマンの「婦人解放の悲劇」は「私どもの座右銘は「おたがひに許しあへ」と云ふのではなく寧ろ「おたがひに理解せよ」と云ふのでなければならぬの見地より論を立てたもの、「結婚と戀愛」は「結婚と戀愛はまるで兩極の樣に離れて居る」との趣旨を述べたるもの、而して「多數と少數」に於ては現代の傾向は「量」である、群衆と群集精神とは隨所にはびこつて質を破壞して居ることを憤慨したものである。譯筆明快、面白く拜見しました。ゴルドマン女史の論文集と傳記を精讀の上、同女史の意見を他日詳細に批評して見たいと思ふて居る（六十錢、日本橋區檜物町東雲堂）

▲**化學的食養の調和**（角地藤太郎氏著）　故石塚左玄先生の食療法を通俗に述べたものである。牛肉、牛乳をのみ迷信せる方々は是非此の書を一讀すべきである。此の書の書き方は「今や澤庵漬には五時間乃至十二時間にチブス菌を全滅せしむる殺菌力があるといふ樣になつた、加里鹽的の體質の人は特に澤庵漬に醬油をダブ〱掛けて食するがよい、肺結核患者等には最もよろしい」「ねんばりと強き身體を造るには粘張りしたる餅を食ふべし」「一年三百六十五日每朝梅干一つ宛食すれば、目まい立くらみ等の患がない」、一寸コンナ風である（三十錢郵稅六錢、芝區露月町實業の世界社販賣）

▲**反響**（生田長江、森田草平兩氏編輯）　小說や詩文も載つて居るが、批評に重きをおくと宣言してある通り、數年來批評が輕視され過ぎてるのを憤慨して起つた雜誌だけありて、新刊書や雜誌に對し、嚴密な批評をしてある、之れは日本に是非一つは無ければならぬ雜誌である、健全なる發達を祈る（十八錢、本鄉區根岸西須賀町二反響社）

▲**婦人新聞**　に每號高野重三先生の「婦人問題早わかり」が連載されて居る、之れは是非本誌の讀者諸君に一讀して頂きたいものです

▲交換及び寄贈雜誌　淑女世界△女學雜誌△經世雜誌△ウオールド△良民△風俗畫報△家庭の園藝△婦人評論△實業の世界△ふくでん△道△道話△婦人の友△不二△新修養△新佛敎△六合雜誌△修養世界△淑女畫報△世界の日本△大正の日本△新日本△俳味△青年日本△正敎時報△大正公論△警世△近代思想△遊藝畫報△新公論△眞人△婦女新聞△第三帝國△佛敎講義錄△長岡週報△佛土新聞△白毫△村落通信△ときのこゑ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

料理講習會の記

東京瓦斯の本郷營業所にては、一般家庭の御婦人に、瓦斯の經濟的使用法に就き實地研究の便を與ふる爲めに、時々料理講習會を開いて居る。去る二月開催の節も好成績なりしが、去月二十三日より一週間に渡り第二回講習會を開かれた。私も近くではあり招待されしを幸ひに、初日に行きました。

年若い娘さん、三十歳餘りの奥さん、合せて、五十人あまりの出會者で、中々の盛會でした。先づ豊田所長の會開の挨拶があつて、囑託教授秋穂割烹女學校長の講演があり、次いで實習がありました。秋穂氏の講演は仲々面白く、『料理は衞生快樂、經濟の三つを取つて行かればならぬ事。主食物と副食物とあるが、副は主を補佐して行くのだから、先づ主食物即ち我國では御飯から研究してかゝられればならぬ、それを一般には研究心が不足で出來るに任せて居るから、硬軟まち〳〵になつて、遂にはお產と御飯たき位むづかしいものはない、一度上手に出來たからとていつもさうは行かないなどゝ云ふ馬鹿〳〵しい事を云ふ、一生に三度か四度のお產と毎日〳〵たく御飯と一しよにする樣な滑稽はない研究して規則にさへ從へばこれ位易いものはない、居眠りして居ても出來る。米はカリエン質のものだから、一定の水と熱とを與ふれば獨りでに飯になる、その理を知らないで、ブウブウ、まだ煮えない〳〵と云ふ米から敎へられて居るから惡いのだ。私は明治三十八年に陸軍に入つてから、軍隊の飯は兵隊の素人がたくのだから、何とかして獨りでにたける方法はないかと、考へて遂に時計式と云ふたき方を發明した。その方法によれば極簡單で、六百人の飯一石二斗の米がたつた三人の當番によつて僅々一時間半で、こげもしなければ心もない御飯が出來る。それに況んや家庭の一升二升の米は鼻歌うたつて居てたける。其方法は一升の米に一升二合の割にて、先づ水を沸騰させ、米を入れふきかけたら、火を止めて、十五分乃至二十分間そのまゝにしておく。決してその間ふたを取ない事です。』と云ふ樣なお話でした。

最後に料理の實習にうつりましたが、十分間で湯の沸騰した中に十五人前二升の米を入れて、五分間にて瓦斯を止め、十五分間うもらしておいて立派な御飯になりました。さはらのてりやきも瓦斯で立派に出來、僅一時間あまりでシチウや味噌汁やいろ〳〵の御馳走が出來ました。

こんな會が毎月、或は隔月でも開かれると季節〳〵の家庭向料理が覺えられ、瓦斯を經濟につかふ事も習ふことが出來て、誠に結構な事だと思ひます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

本社の相談部

▲本社内に相談部を設け

(1) 職業を求むる御婦人

(2) 職業の撰擇に迷ふ御婦人

(3) 家庭及び一身上に苦悶ある御婦人

(4) 結婚の事

等の御相談に應じます。

▲相談部の主任に面會したき御婦人は、午後六時過ぎに御出で下さい。

■教育ある中年の獨身婦人で、會社銀行其他へ通勤を希望して居る方があります(姓名在社)

■教育ある中年の獨身婦人で、家庭へ這入りたいと希望して居る方があります(姓名在社)

■或女學校を卒業して、琴曲は奥儀も許され、生花、茶の湯も一通稽古し、西洋料理も簡易なものは學んだ獨身の御婦人があります、西洋人の家庭ならば猶結構ですが、さもなくとも上流家庭であまり勞働を要しない事務につきたいと云ふ人があります、御婦人の必要な方は御知らせ下さい(姓名在社)

新眞婦人定價表(毎月一回一日發行)

一冊	(郵税共)	拾壹錢
半年分	(郵税共前金)	六拾錢
一年分	(郵税共前金)	壹圓拾錢

御注意 ●注文は總て前金の事前金盡くれば必ず「盡」の一字を朱にて帶封に認む直に送金なき時は發送を停止す●郵券代用は壹錢又は五厘切手にて一割增

◎新眞婦人廣告料 特別面三十圓、一等廿五圓、二等二十圓、普通面十五圓、木版を要するものは別に實費を申受くべし

大正三年四月廿八日印刷納本
大正三年五月一日發行

本鄉區駒込林町二〇六番地
發行兼編輯人及印刷人 西川文子

本所區番場町四番地
印刷所 凸版印刷株式會社分工場

東京市本鄉區駒込林町二百六番地 新眞婦人社
郵便振替貯金口座東京(二四五五六)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

季節向き化粧品陳列

御婚禮御化粧法

右御化粧法の義は當館々主多年の經驗により御素顔の美を損ぜぬやう又お召物との配合光りの接觸等入念なる注意と熟練せる技術とによりて御用命に應じ申すべく陸續御申込み相なりたく伏して希望いたし候

尚ほ季節向き御化粧品種々取り揃へ御注文に相叶ひ候やう陳列致しあり候外個人的にして一つの美術とも申すべき化粧法に關し當館多年の經驗により御相談の御相手たるべき事を確信致し居り候

東京市京橋區
竹川町一二
理容館
電話新橋一五一九
振替口座東京一四一〇〇

御化粧法の御相談相手

産科婦人科小兒科

鷲山改め
女醫 吉岡彌生

院長診察 宅診午前 往診午後
醫員診察 午後

産室及病室の設けあり隨時入院の需めに應ず

東京麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

（電話番町二二五七番）

神田産婆看護婦會本部

神田助産所

東京市神田區裏猿樂町六番地
電話本局千五百三十七番

一神田助産所は遠近を問はず往診、宅診。入所分娩の時は分娩迄、食費丈。分娩後は尤も輕便に特別、實費。理由ある方は施料

一看護婦は遠近に拘らず迅速に御用命に應ず

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

腦病精神病専門

東京巣鴨町四丁目巣鴨電車終點先二丁

巣鴨腦病院

（長電話番町三〇九八）

院長 醫學博士 石川貞吉

入院隨意

●らい病

患者と血統者に急告す

最新發見治療及豫防方法書を濟生の爲小包料八錢送れば秘密送呈す

東京下谷車坂町五二一 福田秋水

東京市京橋區南鍋町壹丁目四番地

ラヂウム専門療院

電話新橋參〇壹六番

院長 ドクトル從五位 渡邊鼎

わきが

治療好期

實驗の結果病勢の減退したる今時が最も治り易ひ直ちに治されよ

本院新研究自療法を數百名に實驗するに効顯的確全快の禮狀感謝狀續々來れり

同情に堪へず紹介し且新式わきが根本療法書無代呈す

東京本所中ノ郷元町三一（電話本所三三四二）東京新療院藥品部宛ハガキ申込め

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

肉體色白新劑

本劑は近時佛國パリス貴紳淑女間に最新流行の發明劑にして生來色黒き男女にても平素之を用ゆれば本劑の主成分たる皮膚漂白性作用により漸次肉體**白色**となり肌を滑にし皺を伸しあれ及吹出物を治し**艶美**の容貌となる卓効を有す世上種々雜多の色白藥を用ひて奏効なき人は速に本劑特製分貳劑を試よ偉大なる奇效完全に顯る價並製壹劑壹圓廿錢特別製壹劑貳圓貳拾錢

色白飲藥

英國輸入の全身清血劑にして飲んで體内の惡血毒血惡液を體外に排泄し血液を清淨にし完全に肉色を**白色艶美**ならしむる奇效顯著藥なり價壹劑貳圓九拾錢參劑七圓九拾錢五劑拾貳圓五拾錢色白新劑と内外双方併用せば偉大の奏效迅速に顯る着金即刻送藥す

腋臭根治劑

本劑は腋臭症に對し最近の學理と實驗とにより研究發見せられたる**斯病唯一**の理想的卓効新藥にて本劑の作用により其病原汗腺を根底より變質せしむるを以て如何なる難症腋臭も完全に治癒す故に他藥にて全治せざる患者は早く試み病原を去り**苦惱を脱**せよ難重症は特別製を用ゆれば完全著效を奏す藥價輕症用壹圓八拾錢重症用貳圓八拾錢慢性症用五圓八拾錢頑固症用特別製分拾圓八拾錢着金小包密送す

最新發見奇藥

陰萎病

特効新藥

本劑(藥名トニチン)は**唯一**の特効新劑にして最近發見に係る陰萎病其主治適應症を擧れば種々の原因より來る**陰萎病** 生殖器障害。遺精。早漏。腎虚。夢精。元氣衰弱。萎縮症。快味感覺減少。發育不全。勃起力衰弱。不妊娠。精液欠乏。冷症。過淫手淫の害。記臆力思考力減退。不眠症。精神過勞等に卓越絶倫なる奇効あり苟も精力を旺盛にし生殖機能強健ならしめ人生の快樂を保全せんと欲する人は早く試みよ的確偉大なる特効顯著なり藥價試用分壹劑貳圓輕症用五劑九圓五拾錢重症用八劑拾四圓五拾錢慢性症用拾參劑貳拾參圓也着金即刻小包密送す

月やく通經劑

本劑は胃腸を害せず子宮を痛めず月經とまりを迅速に**通經**す長き滯り及び血塊には特製分を用ひよ極安全に快通**流經**す且つ月經不順より起る子宮病血の道を治癒し惡血古血を一掃す患者は早く試み卓絶偉大なる**特効**を知られよ近時無効類似僞藥多し御注意を乞ふ價は壹劑七拾錢貳劑壹圓廿錢參劑壹圓七拾錢特別製分貳圓卅錢頑固症用特製分四圓卅錢郵券代用貳割增し

婦人病の福音

本劑は最新の學理と多年の實驗とにより發見せられたる婦人病藥唯一の靈劑なるを以て頑固なる月經閉止及血塊抔と稱へ永年經水なきを快通流下するは勿論月經不調に基因して續發する逆上頭痛眩暈腰或は子宮に痛ある人腹子宮部の痙攣等に用ひ偉大なる卓効顯著なり早く試よ

毛生新藥

(奇効顯著藥)

本劑(藥名ヘアークロース)は多年研究實驗の結果發見し**毛髮速生藥**なり即ち男女共禿頭たる病の人各種の病氣にて脱毛する人頭髮及はゑぎわの薄き人陰部毛なき人まゆげ口ひげの薄き人其他總て毛のあるべき所に毛なき人用ゆれば毛髮著々と**速生**する**特効**あり本劑は世にありふれたる種々雜多の毛はへ藥とは其効大に異なるに付幸に玉瓦混同視することなく速に試み卓絶偉大なる奇効を知られよ價小瓶壹圓廿錢中瓶二圓卅錢大瓶五圓卅錢特別製分拾圓卅錢着金即刻送藥す郵券代用必ず二割増しの事

やせる藥

壹劑參圓卅錢貳劑六圓二十錢特別製九圓拾錢

本劑(藥名ヨードチリン錠)は學理實驗に徴したる唯の**瘦身劑**にて血ぶとり。酒ぶとり。あぶらぶとり。顏赤くほてり。のぼせ症。卒中症等總て肥滿質多血質脂肪過多質の人に用ゆれば無害にして著しく體量を減じ脂肪を適度に脱し**美容健康**を保ち程よくやせる特効藥となり故に彼の見苦しくふとりたる諸君は速に本劑を用ひ其峻烈偉大なる卓効を知られよ

以上七藥 專賣

東京市神田區五軒町十九番地

日新館藥房

電話下谷五百四十六番
振替東京一九二四六番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リウマチス

▼全治

御望の方は八ガキにて御症状を記し御申越あれば十數年不治とおあきらめなされたリウマチも實に驚く程よくナオル神秘靈劑……弊店家傳の秘藥を御知らせ致します御全快の皆様から日々澤山の感謝状を下されます

東京市淺草觀音仲見世天勇横町

井筒屋油店

電話下谷……三一五番
振替口座一九六五二番

最も人にきらはれる わきが

の病に罹られたる御方又永年慢性わきがにて色々の治療を施されても治らずに苦まる丶御方の爲めに不思議によくきく治療法を御知らせ致します御望みの御方は御遠慮なく只返信料三錢切手御送り下されば御知らせ致します

東京神田區錦町三ノ三　中村喜三郎

腦神經精神病

東京赤坂

帝國腦病院改

青山腦病院

院長　ドクトルメヂチーネ　齋藤紀一

醫學士三名

田澤醫學士

特長電　芝二七四五
電　芝二六六五
電　芝三四〇六

皮膚病一切
たむしの妙藥

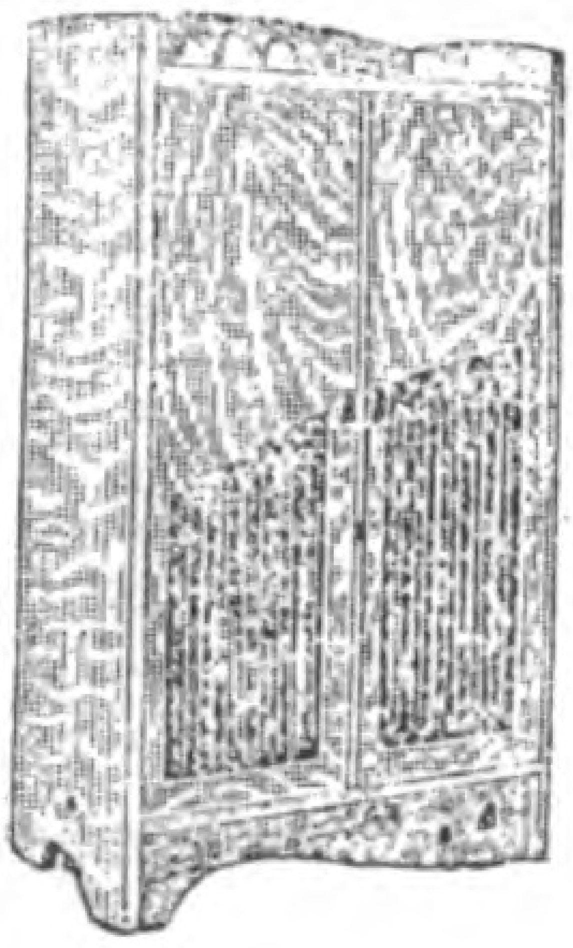
タムシン

東京市京橋區入舟町四丁目
本舗　橋本進世堂

◉其愛兒のために

女兒には結婚費男子には修學費の爲めに、其の幼少の頃より心掛けてやらんと欲せらる丶思慮深き親御様達に最も確實にして且つ御便利なる御相談あり。

姓名在社



階上

先頃増築に伴ふて階上も亦廣くなり申候　異國情調の智識的實用向趣味的實用向の文房具が澤山陳列有之候御高覧お待受申上候

そのうちに楢材に白ラックを施し優雅清洒を極めたる机と本箱と本置臺などもあり殊に御高覧お待受申上候

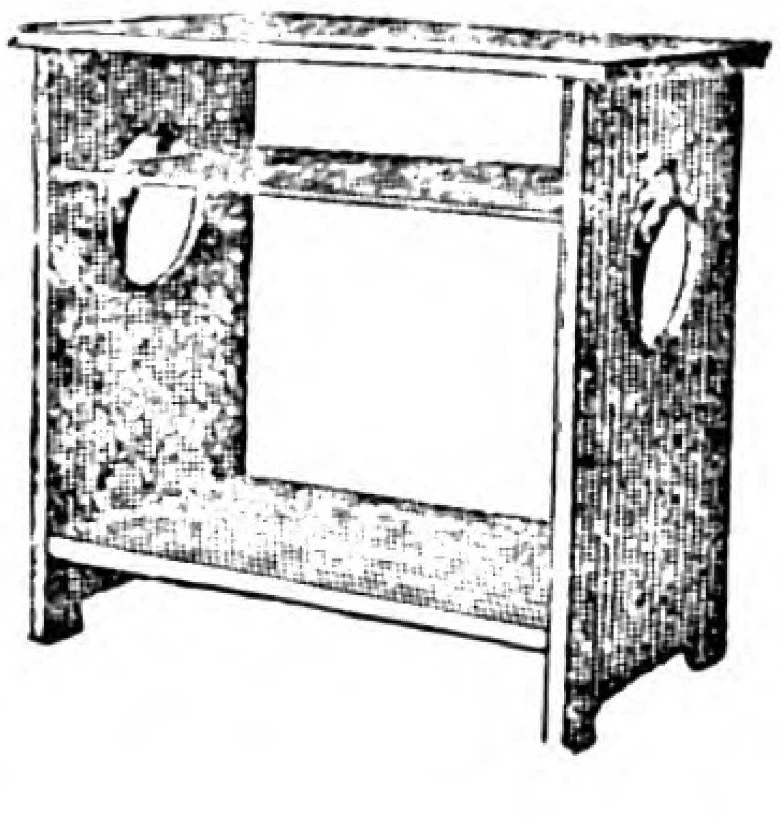
机	高一尺貳寸	間口貳尺四寸	奥行一尺三寸	金五圓也
本箱	高二尺六寸	間口一尺五寸	奥行九寸	金九圓五十錢
本置臺	高一尺三寸	間口一尺四寸	奥行八寸	金三圓五十錢

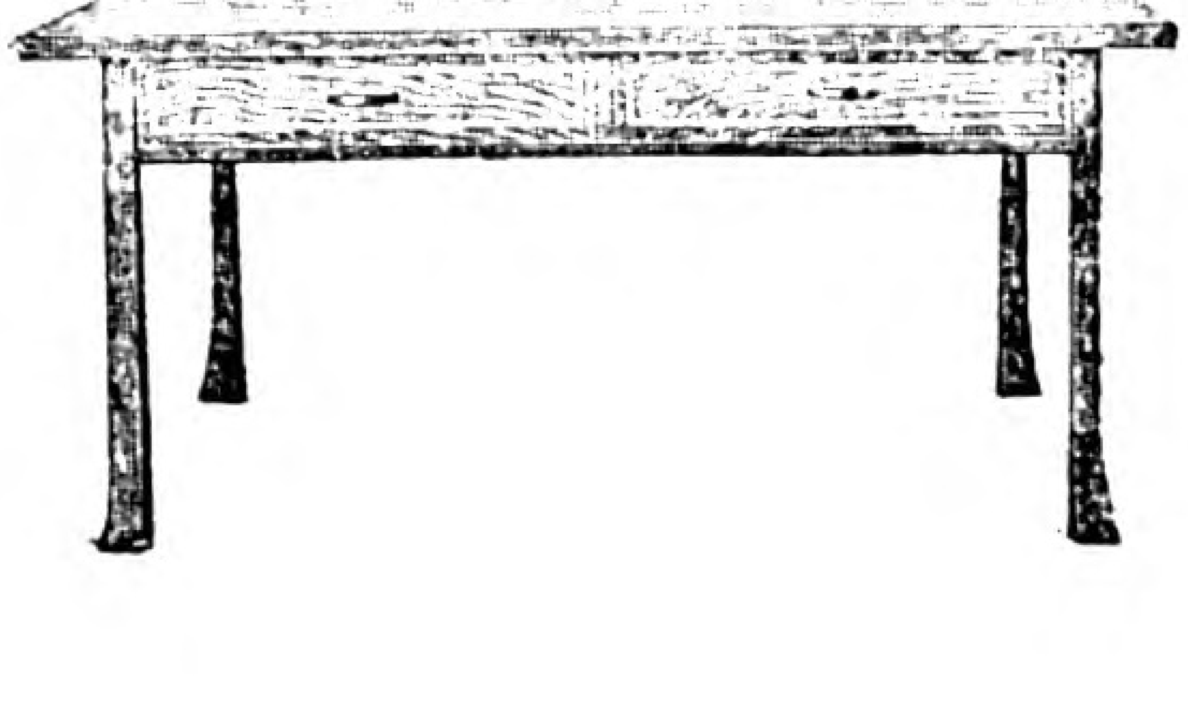
荷造費　机と本箱八十錢　本置臺三十錢

東京銀座

伊東屋

電話新橋 一三二九
一七九六
振替口座 五一一一





Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大正二年四月二十六日第三種郵便物認可
大正三年四月二十八日印刷納本　大正三年五月一日發行（每月一回一日發行）

嬉しきホ子ームーンにも樂しきスウ井ートホームにも均しく

■喜谷實母散　主治能効■

▲子宮病　▲血の道
▲白帶 赤帶　▲こしけ
▲下腹痛み　▲足腰冷込
▲氣ふさぎ　▲產前產後
▲逆上頭痛　▲難產流產
▲月經不順　▲經期腹痛

改正定價表

			送料
本法實母散	壹貼	金拾錢	二錢
同	參貼	金參拾錢	二錢
同	五貼	金四拾五錢	二錢
同	七貼	金六拾錢	四錢
同	拾四貼	金壹圓貳拾錢	六錢
同	廿一貼	金壹圓六拾錢	八錢
同	參拾貼	金貳圓[illegible]錢	八錢

實母散によりて得たる婦人の健康が第一なり

本舖　東京市京橋區中橋大鋸町　喜谷市郎右衛門

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA